

6. 共同利用・共同研究拠点の期末評価要項

平成27年1月27日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
共同利用・共同研究拠点に関する作業部会

目 次

共同利用・共同研究拠点の期末評価要項	1
別紙 1 期末評価に係る評価体制	7
別紙 2 期末評価の進め方	8
別紙 3 期末評価の書面評価票（様式）	9
別紙 4 各分野の専門家による期末評価意見実施要領	14
別紙 5 期末評価の評価意見書（様式）	15
別紙 6 期末評価に関するヒアリング評価実施要領	20
別紙 7 期末評価のヒアリング評価票（様式）	21
別紙 8 期末評価結果（公表様式）	22
別紙 9 期末評価における共同利用・共同研究拠点のグループ分け	24
別紙 10 期末評価用調書に関する記入・提出要領	26
別紙 11-1 期末評価用調書【単独拠点用】	48
別紙 11-2 期末評価用調書【ネットワーク型拠点用】	82

共同利用・共同研究拠点の期末評価要項

国立大学における共同利用・共同研究拠点（以下、「拠点」という。）の期末評価は、この期末評価要項により行うものとする。

1. 期末評価の対象

国立大学法人の77拠点を対象とする。

（平成22年度から拠点として認定されている70拠点
平成23年度から拠点として認定されている4拠点
平成25年度から拠点として認定されている3拠点）

なお、本評価は共同利用・共同研究拠点の活動に着目して評価するものであるが、拠点の活動成果は、研究所・センターの活動成果と密接に関連するものであることから、本評価においては研究所・センター全体の活動も考慮する。

2. 期末評価の目的

拠点は、研究者コミュニティの意向を踏まえ、我が国全体の学術の振興に特に資するものについて、科学技術・学術審議会研究環境基盤部会における審議を経て、学校教育法施行規則（第143条の3）に基づき文部科学大臣が認定するものであり、国の学術政策として国が一定の関与を行っていくことが求められている。

このため、各拠点の成果や各拠点において研究者コミュニティの意向を踏まえた取組が適切に行われているかなどを確認し、当該拠点の目的が十分達成されるよう中間評価を実施し、適切な助言を行ったところであり、そのフォローアップを行うとともに、第3期中期目標期間（以下、「第3期」という。）における各大学における拠点の位置づけの明確化や拠点機能の向上に向け、学術研究の基盤強化と新たな学術研究の展開に資する本認定制度の目的及び意義を踏まえ、共同利用・共同研究拠点認定制度の創設以後初となる期末評価を実施する。また、期末評価の結果により、次期認定を希望する拠点の認定の更新を行う。

3. 期末評価の実施

(1) 期末評価体制

- ① 研究分野等に応じた専門的かつ公正な審議を行うため、作業部会の下に、①理工学系（大型設備利用型）、②理工学系（共同研究型）、③医学・生物学系（医学系）、④医学・生物学系（生物学系）、⑤人文・社会科学系の各専門委員会を設置する（体制図は別紙1のとおり）。

- ② 期末評価を担当する委員（以下、「期末評価委員」という。）の構成は、次のとおりとする。
- ・ 共同利用・共同研究拠点に関する作業部会（以下、「作業部会」という。）委員
 - ・ 上記に加え、拠点の認定の際に審査に携わった者等で、専門的観点から高い知見を有する専門家や有識者
- ③ 学際的・分野融合的拠点については、関連する専門委員会の意見を踏まえ、最も関連の深い専門委員会において評価を行う。

(2) 評価方法

期末評価は、作業部会に設けられた各専門委員会において書面及びヒアリング、合議評価により実施される（評価の進め方は別紙2のとおり）。

なお、評価に際しては、分野や歴史、規模等、各拠点の特性に配慮する（特に、小規模であることのみをもって低評価とはしない。）。

① 書面評価

各専門委員会において、担当する拠点について次の資料により個別審査を行い、合議により書面評価を行う（書面評価の様式は別紙3のとおり）。なお、評価にあたっては、調書の自由記述欄の記載内容も十分に考慮し、合議の際には、複数の各分野の専門家による評価意見を参考とする（専門家による評価意見の実施要領は別紙4、評価意見の様式は別紙5のとおり）。

- ・ 共同利用・共同研究拠点期末評価用調書（記入・提出要領は別紙10、様式は別紙11のとおり）
- ・ 認定時の申請書

② ヒアリング評価

書面評価を踏まえ、各専門委員会においてヒアリングを行い、その後合議により評価を行う。ただし、書面評価の結果により、ヒアリングを省略することを可能とする（ヒアリング評価の実施要領は別紙6、ヒアリング評価の様式は別紙7のとおり）。

③ 評価の決定

作業部会は、各専門委員会における各拠点の評価結果案について全体調整を行い、各拠点と評価内容の事実確認を行った上で、期末評価結果を最終的に決定する。

(3) 評価の観点

【第2期中期目標期間中の評価】

① 拠点としての適格性

○ 研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該拠点の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。（規程第3条第2号関連）

- ・ 下記のような点を総合的に考慮して、各拠点が当該分野における中核的な研究施設で

あると認められるか。

- > 当該研究施設におけるこれまでの研究成果
 - > 競争的資金等の採択状況
 - > 卓越した研究者やリーダーの存在
 - > 共同利用・共同研究に参加する関連研究者が利用できる研究スペースや宿泊施設等の確保
- ・ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として当該分野の中核的な研究施設であると認められるか。
 - ・ 同一分野複数拠点の場合、以下の点に留意し、それぞれの拠点が中核的な研究施設であると認められるか。
 - > 当該分野における各拠点の特徴
 - > 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制

○共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。

(規程第3条第3号関連)

- ・ 当該研究施設が有する共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等の整備状況等

○共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うための必要な体制が整備されているか。

(規程第3条第6号関連)

- ・ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が配置されているか。
- ・ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。
- ・ 関連研究者に対して必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。
- ・ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。
- ・ 関連研究者に対する支援を行うに当たり、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が行われているか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。

②拠点としての活動状況

○全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供が広く行われているか。

(規程第3条第7号関連)

- ・ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、学会誌での情報提供等により、広く情報提供が行われているか。
 - > 共同利用・共同研究への参加の方法（課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等）

- > 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況
- > 拠点における研究の成果
- > その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等

○多数の関連研究者の参加促進・関係分野への働きかけや大型プロジェクトの企画運営等、関連分野の発展への取組が行われているか。

(規程第3条第8号関連)

- ・ 特に公私立の研究者の参加を促進するための取組が行われているか。
- ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成が行われているか。
- ・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワークの構築等に参画し中核的な取組をしているか（日本学術会議のマスタープラン、科学技術・学術審議会のロードマップへの貢献等）。

○拠点の運営に当たり、広く外部の意見を取り入れているか、または、取り入れることできる仕組みとなっているか。

(規程第3条第4号関連)

- ・ 例えば、全国の関連研究者の意向を反映させやすいような体制や組織構成となっているか。
- ・ 積極的にコミュニティからの意見を取り入れるような取組がなされているか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮できるような構成となっているか（例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっていないか）。

○共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加しているか。

(規程第3条第8号関連)

- ・ 共同利用・共同研究の実績（設備の利用状況、データベースへのアクセス数、共同研究の件数、研究集会やシンポジウムの開催数、共同研究者数等）は研究施設の規模や実績と比較して十分か。
- ・ 従前は全国共同利用施設ではなかった拠点においては、拠点認定前と比較してどの程度実績が上がっているか。

○共同利用・共同研究の課題等の採択に当たり、公平な審査が可能な仕組みが整備されているか。

(規程第3条第5号関連)

- ・ 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が適切か（広くコミュニティに開かれているか、公平に採択されているかなど）。

③拠点における研究活動の成果

○拠点認定時の申請内容がどの程度達成されているか。

- ・ 拠点に申請した際の目的・目標に対してどの程度達成されたか。
- ・ ネットワーク型拠点の場合、異分野融合による新分野創成にどのような貢献をしているか。また、各拠点の研究分野の発展や研究活動にどのような効果を及ぼしたか。

○共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているか。

- ・ 下記のような客観的な指標から、当該拠点の共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているといえるか。

- 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、共同利用・共同研究が発展してプロジェクト研究につながったもの等。
- ・ 共同利用・共同研究機能でしか成し得ない研究成果が生み出されているか（異分野融合による新分野の創成等）。

○拠点活動を通じて共同利用・共同研究者（外部研究者）への波及効果が生み出されているのか。

- ・ 外部研究者自身の研究成果につながっているのか。

○研究活動の成果が地域社会や広く国際社会に対しても貢献できているか。

- ・ 公開講座や公開講演会等の実施状況。

④関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献

○関連研究分野や関連研究者コミュニティの発展に貢献できているか。

⑤中間評価結果のフォローアップ状況

○中間評価結果について、改善点の見直しや新たな取組の実施等、拠点としてどのようにフォローアップしているのか。

【第3期中期目標期間に向けた評価】

⑥各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献

○国際化へどのように貢献していくのか（国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等）。

○若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献していくのか。

○企業との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献していくのか。

○地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献していくのか。

○年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等により人材の流動化にどのように貢献していくのか。

⑦第3期における拠点としての方向性

○国立大学改革が進む中、第3期において、拠点としてどのような方向性をもって取り組んでいくのか。

- ・ 重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等

○当該分野の拠点として、第3期において、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか。

(4) 評価区分

期末評価の区分は、以下のとおりとする。

区分	内容
S	拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。
A	拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究を通じた成果や効果が期待される。
B	拠点としての活動は行われているものの拠点の規模等と比較して低調であり、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた適切な取組が必要と判断される。
C	拠点としての活動が十分とは言えず、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた事業内容の見直しが必要と判断される。

4. その他

(1) 期末評価結果の反映・活用

- ① 期末評価結果に基づき各拠点の活動について適切な助言を行う。
- ② 次期認定を希望している拠点のうち、期末評価の総合評価「B」の拠点については作業部会において合議により認定更新の可否を判断し、総合評価「C」の拠点については認定更新は行わない。

(2) 評価の公開等

- ① 期末評価の過程は、評価の適正な実施の観点から非公開とし、関係の会議資料等についても非公開とする。
- ② 期末評価結果については、総合評価及び観点毎の評価について各拠点に通知するとともに、ホームページへの掲載等により公開する（評価結果の公表様式は別紙8のとおり）。

(3) 利害関係者の排除

- ① 期末評価委員が当該拠点に専任又は兼任として在職（就任予定を含む）し、または過去3年以内に在職していた場合
- ② 期末評価委員の関係者（学部、研究科、附置研究所等の同一組織の者、親族）が拠点の構成員となっている場合
- ③ その他期末評価委員が中立・公正に審査を行うことが困難であると判断される事由がある場合

(4) 秘密保持

- ① 期末評価委員は、期末評価の過程で知ることのできた情報について外部に漏らしてはならない。
- ② 期末評価委員は、委員として取得した情報（調書等各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理することとする。

(5) その他

この要項に定めるもののほか、期末評価の実施に関し必要な事項は別に定める。

期末評価に係る評価体制

共同利用・共同研究拠点に関する作業部会

・ 期末評価要項等の検討・決定

専門委員会

理工学系（大型設備利用型） 4名程度

理工学系（共同研究型） 5名程度

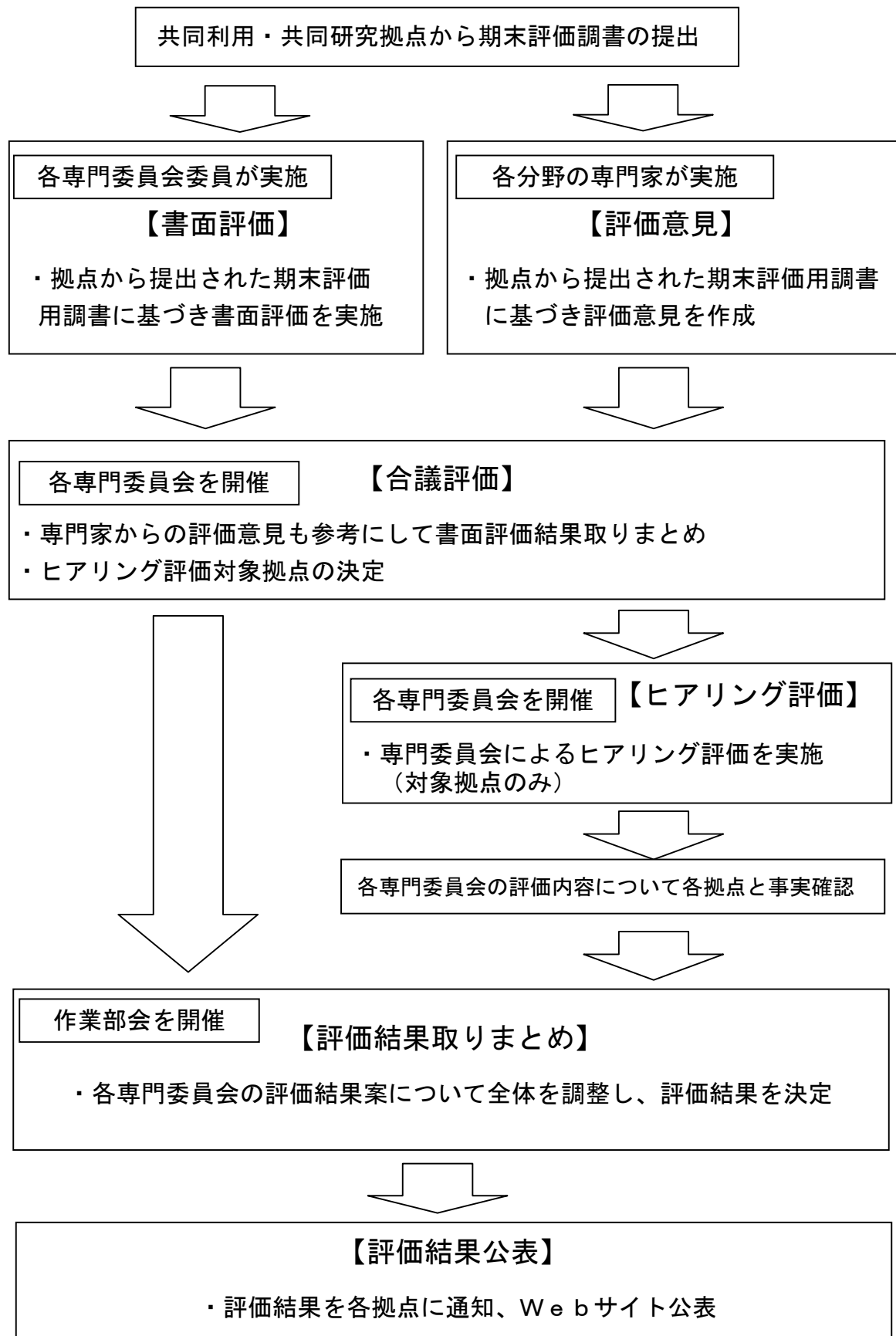
医学・生物学系（医学系） 5名程度

医学・生物学系（生物学系） 4名程度

人文・社会科学系 3名程度

※各拠点のグループ分けについては別紙9のとおり

期末評価の進め方



期末評価の書面評価票

委員名 _____

大学名			
研究施設名			拠点名
全体評価 <small>※観点別評価を踏まえ、全体的な評価を記入。</small>	S	拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。	
	A	拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究を通じた成果や効果が期待される。	
	B	拠点としての活動は行われているものの拠点の規模等と比較して低調であり、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた適切な取組が必要と判断される。	
	C	拠点としての活動が十分とは言えず、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた事業内容の見直しが必要と判断される。	
全体評価所見 <small>※観点別評価を踏まえ、上記の評価とした根拠・理由等について記入。</small>	<p>(優れた点等)</p> <p>(課題、改善を要する点等)</p> <p>(その他)</p> <small>※詳しい説明を要する事項等</small>		

観点別評価 ※下記の観点別評価は、右の基準に基づき評価を行う。	s	非常に優れている。
	a	優れている。
	b	やや劣っている。
	c	劣っている。
【第2期中期目標期間中の評価】 ① 拠点としての適格性	観点評価 s. a. b. c.	
○研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該拠点の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のような点を総合的に考慮して、各拠点が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 当該研究施設におけるこれまでの研究成果 > 競争的資金等の採択状況 > 卓越した研究者やリーダーの存在 > 共同利用・共同研究に参加する関連研究者が利用できる研究スペースや宿泊施設等の確保 ・ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として当該分野の中核的な研究施設であると認められるか。 ・ 同一分野複数拠点の場合、以下の点に留意し、それぞれの拠点が中核的な研究施設であると認められるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 当該分野における各拠点の特徴 > 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制 ○共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該研究施設が有する共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等の整備状況等。 ○共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うための必要な体制が整備されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が配置されているか。 ・ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。 ・ 関連研究者に対して必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。 ・ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。 ・ 関連研究者に対する支援を行うに当たり、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が行われているか。 ・ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。 	(評価理由等を記入)	

② 拠点としての活動状況	観点評価 s. a. b. c.
<p>○全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供が広く行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、学会誌での情報提供等により、広く情報提供が行われているか。 ＞ 共同利用・共同研究への参加の方法（課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等） ＞ 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況 ＞ 拠点における研究の成果 ＞ その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等 <p>○多数の関連研究者の参加促進・関係分野への働きかけや大型プロジェクトの企画運営等、関連分野の発展への取組が行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に公私立の研究者の参加を促進するための取組が行われているか。 ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成が行われているか。 ・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワークの構築等に参画し中核的な取組をしているか（日本学術会議のマスタープラン、科学技術・学術審議会のロードマップへの貢献等）。 <p>○拠点の運営に当たり、広く外部の意見を取り入れているか、または、取り入れることできる仕組みとなっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、全国の関連研究者の意向を反映させやすいような体制や組織構成となっているか。 ・ 積極的にコミュニティからの意見を取り入れるような取組がなされているか。 ・ ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮できるような構成となっているか（例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっていないか）。 <p>○共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用・共同研究の実績（設備の利用状況、データベースへのアクセス数、共同研究の件数、研究集会やシンポジウムの開催数、共同研究者数等）は研究施設の規模や実績と比較して十分か。 ・ 従前は全国共同利用施設ではなかった拠点においては、拠点認定前と比較してどの程度実績が上がっているか。 <p>○共同利用・共同研究の課題等の採択に当たり、公平な審査が可能な仕組みが整備されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が適切か（広くコミュニティに開かれているか、公平に採択されているかなど）。 	<p>(評価理由等を記入)</p>

<p>③ 拠点における研究活動の成果</p> <hr/> <p>○拠点認定時の申請内容がどの程度達成されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点に申請した際の目的・目標に対してどの程度達成されたか。 ・ ネットワーク型拠点の場合、異分野融合による新分野創成にどのような貢献をしているか。また、各拠点の研究分野の発展や研究活動にどのような効果を及ぼしたか。 <p>○共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のような客観的な指標から、当該拠点の共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているといえるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、共同利用・共同研究が発展してプロジェクト研究につながったもの等。 > 共同利用・共同研究機能でしか成し得ない研究成果が生み出されているか（異分野融合による新分野の創成等）。 <p>○拠点活動を通じて共同利用・共同研究者（外部研究者）への波及効果が生み出されているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研究者自身の研究成果につながっているのか。 <p>○研究活動の成果が地域社会や広く国際社会に対しても貢献できているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座や公開講演会等の実施状況。 	<p>観点評価</p> <p>s. a. b. c.</p> <hr/> <p>(評価理由等を記入)</p>
<p>④ 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献</p> <hr/> <p>○関連研究分野や関連研究者コミュニティの発展に貢献できているか。</p>	<p>観点評価</p> <p>s. a. b. c.</p> <hr/> <p>(評価理由等を記入)</p>
<p>⑤ 中間評価のフォローアップ状況</p> <hr/> <p>○中間評価結果について、改善点の見直しや新たな取組の実施等、拠点としてどのようにフォローアップしているのか。</p>	<p>観点評価</p> <p>s. a. b. c.</p> <hr/> <p>(評価理由等を記入)</p>

<p>【第3期中期目標期間に向けた評価】</p> <p>⑥各国立大学の強み・特色としての国立大学機能強化への貢献</p> <hr/> <p>○国際化へどのように貢献していくのか(国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等)。</p> <p>○若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献していくのか。</p> <p>○企業との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献していくのか。</p> <p>○地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献していくのか。</p> <p>○年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等により人材の流動化にどのように貢献していくのか。</p>	<p>観点評価</p> <p>s. a. b. c.</p> <hr/> <p>(評価理由等を記入)</p>
<p>⑦第3期における拠点としての方向性</p> <hr/> <p>○国立大学改革が進む中、第3期において拠点としてどのような方向性をもって取り組んでいくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等 <p>○当該分野の拠点として、第3期において、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか、</p>	<p>観点評価</p> <p>s. a. b. c.</p> <hr/> <p>(評価理由等を記入)</p>

各分野の専門家による期末評価意見実施要領

期末評価要項 3 (2) ①に定める各分野の専門家による評価意見は、この実施要領により行うものとする。

1. 目的

共同利用・共同研究拠点の期末評価においては、分野等に応じた専門的かつ公正な審議をおこなうため、作業部会の下に5つの専門委員会を設置し、評価を行うこととしているが、限られた委員数で77拠点全ての研究分野を網羅することは困難である。

そのため、各専門員会において、各分野の特性を踏まえた質の高い評価を実施するに当たっての参考とするため、各拠点の分野に精通した専門家の評価意見を聴取することとする。

2. 対象

期末評価を受ける国立大学法人の77拠点を対象とする。

3. 実施方法

評価意見を依頼する専門家は各拠点2名とし、学術的・専門的見地から、各拠点の期末評価用調書に対する評価意見を「書面」により聴取する。

(1) 専門家は、作業部会で定められた「審議に当たっての主な観点」に基づき、観点毎に意見を付した評価意見書を作成し、文部科学省に提出する。なお、評価意見書の様式については別紙5のとおり。

(2) 専門家から提出された評価意見書は、各委員会における書面評価の合議等の際に参考とする。

4. その他

(1) 評価意見書による意見は評価において活用するが、当該意見が評価結果を拘束するものではないことに留意する。

(2) 評価意見書の作成者の氏名等、意見を聴取した担当学術調査官の氏名等は原則として非公開とする。

期末評価の評価意見書

評価意見書作成者	所属機関	部局等	職名	氏名

下記の共同利用・共同研究拠点についての意見は、下記のとおりです。

記

大学名			
研究施設名		拠点名	

<p>【第2期中期目標期間中の評価】</p> <p>① 拠点としての適格性</p> <p>○研究実績、研究水準、研究環境等に照らし、当該拠点の目的たる研究の分野における中核的な研究施設であると認められるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のような点を総合的に考慮して、各拠点が当該分野における中核的な研究施設であると認められるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 当該研究施設におけるこれまでの研究成果 > 競争的資金等の採択状況 > 卓越した研究者やリーダーの存在 > 共同利用・共同研究に参加する関連研究者が利用できる研究スペースや宿泊施設等の確保 ・ ネットワーク型拠点の場合、ネットワーク全体として当該分野の中核的な研究施設であると認められるか。 ・ 同一分野複数拠点の場合、以下の点に留意し、それぞれの拠点が中核的な研究施設であると認められるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 当該分野における各拠点の特徴 > 当該分野における拠点毎の役割分担及び連携体制 <p>○共同利用・共同研究に必要な施設、設備及び資料等を備えているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該研究施設が有する共同利用・共同研究に必要な施設、設備、学術資料、データベース等の整備状況等。 <p>○共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うための必要な体制が整備されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が配置されているか。 ・ 技術的支援について、例えば、技術職員の配置や設備のスムーズな利用等の面で、適切な体制が整備されているか。 	<p>(意見記入欄)</p>
---	----------------

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連研究者に対して必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。 ・ その他拠点の活動内容に応じて、例えば、事務体制や研究スペースの確保、宿泊施設の確保等が適切に行われているか。 ・ 関連研究者に対する支援を行うに当たり、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が行われているか。 ・ ネットワーク型拠点の場合、当該拠点の運営の中核となる研究施設が設定され、当該施設が拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす体制が構築されているか。 	
<p>② 拠点としての活動状況</p> <p>○全国の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備及び資料等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供が広く行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のような情報について、例えば、ホームページやメーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、学会誌での情報提供等により、広く情報提供が行われているか。 <ul style="list-style-type: none"> > 共同利用・共同研究への参加の方法（課題の公募要領、施設の利用要領・利用資格等） > 共同利用・共同研究において利用可能な施設、設備及び資料等の状況 > 拠点における研究の成果 > その他共同利用・共同研究に参加する際に得られる支援の内容等 <p>○多数の関連研究者の参加促進・関係分野への働きかけや大型プロジェクトの企画運営等、関連分野の発展への取組が行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に公私立の研究者の参加を促進するための取組が行われているか。 ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成が行われているか。 ・ 大型プロジェクトの発案、運営、ネットワークの構築等に参画し中核的な取組をしているか。（日本学術会議のマスタープラン、科学技術・学術審議会のロードマップへの貢献等） <p>○拠点の運営に当たり、広く外部の意見を取り入れているか、または、取り入れることできる仕組みとなっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、全国の関連研究者の意向を反映させやすいような体制や組織構成となっているか。 ・ 積極的にコミュニティからの意見を取り入れるような取組がなされているか。 ・ ネットワーク型拠点の場合、全体として拠点機能を発揮でき 	<p>(意見記入欄)</p>

<p>るような構成となっているか（例えば、構成施設単位で運営委員会が設置されるような体制になっていないか）。</p> <p>○共同利用・共同研究に多数の関連研究者が参加しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同利用・共同研究の実績（設備の利用状況、データベースへのアクセス数、共同研究の件数、研究集会やシンポジウムの開催数、共同研究者数等）は研究施設の規模や実績と比較して十分か。 従前は全国共同利用施設ではなかった拠点においては、拠点認定前と比較してどの程度実績が上がっているか。 <p>○共同利用・共同研究の課題等の採択に当たり、公平な審査が可能な仕組みが整備されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が適切か（広くコミュニティに開かれているか、公平に採択されているかなど）。 	
<p>③ 拠点における研究活動の成果</p> <p>○拠点認定時の申請内容がどの程度達成されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点に申請した際の目的・目標に対してどの程度達成されたか。 ネットワーク型拠点の場合、異分野融合による新分野創成にどのような貢献をしているか。また、各拠点の研究分野の発展や研究活動にどのような効果を及ぼしたか。 <p>○共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記のような客観的な指標から、当該拠点の共同利用・共同研究を通じて優れた研究成果が生み出されているといえるか。 <ul style="list-style-type: none"> > 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数、高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載、共同利用・共同研究が発展してプロジェクト研究につながったもの等。 > 共同利用・共同研究機能でしか成し得ない研究成果が生み出されているか。（異分野融合による新分野の創成等） <p>○拠点活動を通じて共同利用・共同研究者（外部研究者）への波及効果が生み出されているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部研究者自身の研究成果につながっているのか。 <p>○研究活動の成果が地域社会や広く国際社会に対しても貢献できているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開講座や公開講演会等の実施状況。 	<p>(意見記入欄)</p>

<p>④ 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献</p>	
<p>○関連研究分野や関連研究者コミュニティの発展に貢献できているか。</p> <p>○拠点活動を通じて共同利用・共同研究者（外部研究者）への波及効果が生み出されているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研究者が当該分野の学術の進展に寄与しているのか。 ・ 外部研究者自身の研究成果につながっているのか。 	<p>(意見記入欄)</p>
<p>⑤中間評価のフォローアップ状況</p>	
<p>○中間評価結果について、改善点の見直しや新たな取組の実施等、拠点としてどのようにフォローアップしているのか。</p>	<p>(意見記入欄)</p>
<p>【第3期中期目標期間に向けた評価】</p>	
<p>⑥各国立大学の強み・特色としての国立大学機能強化への貢献</p>	
<p>○国際化へどのように貢献していくのか。（国際化へ向けた体制の強化や国際公募の状況等）</p> <p>○若手・女性・外国人研究者の人材育成及び博士課程学生の教育にどのように貢献していくのか。</p> <p>○企業との連携等によるイノベーションの創出にどのように貢献していくのか。</p> <p>○地域の中核拠点として地方の活性化等にどのように貢献していくのか。</p> <p>○年俸制やクロスアポイントメント制度の導入等により人材の流動化にどのように貢献していくのか。</p>	<p>(意見記入欄)</p>

<p>⑦第3期における拠点としての方向性</p> <p>○国立大学改革が進む中、第3期において、拠点としてどのような方向性をもって取り組んでいくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重視する方向性の例：グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等 <p>○当該分野の拠点として、第3期において、どのようなミッションを持ち、当該分野を発展させていくのか。</p>	<p>(意見記入欄)</p>
--	----------------

<p>⑧その他の所見（上記の項目で記載できなかった点がある場合に記載してください。）</p>	
<p>(意見記入欄)</p>	

期末評価に関するヒアリング評価実施要領

期末評価要項3(2)②に定めるヒアリング評価は、この実施要領により行うものとする。

1. 対象

各専門委員会における書面評価の結果、ヒアリング評価の対象とされた共同利用・共同研究拠点（以下、「拠点」という。）。

2. ヒアリング評価の進め方等

(1) 説明者

拠点代表者等、拠点の内容について責任をもって説明できる者（5名以内）。

(2) 時間配分（合計30分）

- | | |
|--------|-----|
| ① 説明 | 10分 |
| ② 質疑応答 | 15分 |
| ③ まとめ | 5分 |

(3) 説明資料

① 拠点が準備する資料

- ・ 期末評価用調書
- ・ その他プレゼン資料や補足説明資料等（希望する場合）

② 文部科学省が準備する資料

- ・ 認定時の申請書
- ・ 期末評価の書面評価結果

(4) 説明内容

期末評価用調書に基づき、期末評価要項「3(3)評価の観点」に沿って、簡潔に説明を行うこと。

なお、ヒアリング評価に際し、各専門委員会から事前に質問事項が提示された場合には、その回答を含め説明すること。

3. ヒアリング評価出席者の注意事項

- (1) 説明者は、当該ヒアリング開始時間15分前に指定する待合室に参集すること。
- (2) 説明者は、簡潔に説明するよう心がけること。
- (3) 説明時間及び質疑応答の時間は厳守し、説明が10分以内で終了しても、残り時間を質疑応答の時間に振り替えないものとする。
- (4) ヒアリング会場において、液晶プロジェクター、パソコン等の利用を希望する場合には、説明者は事前に事務局まで申し出ること。
- (5) ヒアリング内容の録画、録音は禁止する。

期末評価のヒアリング評価票

委員名 _____

大学名			
研究施設名		拠点名	
ヒアリング評価		S：拠点としての活動が活発に行われており、共同利用・共同研究を通じて特筆すべき成果や効果が見られ、関連コミュニティへの貢献も多大であったと判断される。	
		A：拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究を通じた成果や効果が期待される。	
		B：拠点としての活動は行われているものの拠点の規模等と比較して低調であり、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた適切な取組が必要と判断される。	
		C：拠点としての活動が十分とは言えず、作業部会からの助言や関連コミュニティからの意見等を踏まえた事業内容の見直しが必要と判断される。	
ヒアリング評価 所見	(優れた点等)		
※上記の評価とした根拠・理由等について記入。	(課題、改善を要する点等)		
	(その他)		

期末評価結果（公表様式）

大学名	
研究施設名	
拠点の名称	
認定期間	

1. 拠点の目的・概要

※期末評価用調書より転記

2. 総合評価

(評価区分)
(評価コメント)

3. 観点毎の評価

①拠点としての適格性 (評価コメント)
②拠点としての活動状況 (評価コメント)
③拠点における研究活動の成果 (評価コメント)
④関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献 (評価コメント)
⑤中間評価結果のフォローアップ状況 (評価コメント)
⑥各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献※ (評価コメント)
⑦第3期における拠点としての方向性※ (評価コメント)

※次期認定を希望した拠点のみ

期末評価における共同利用・共同研究拠点のグループ分け

※以下の整理を基本としつつ、各拠点に確認し、作業部会において決定。
 ・「期末評価」列には、中間評価を行った5つの専門委員会の分野を記載
 (なお、認定期間が25年度からの3拠点については、中間評価を行っていないため、事務局でa②：理工学系(共同研究型)に分類し、拠点に確認)
 ・「形態」列には、中間評価実施時の形態を記載。
 (なお、中間評価時の整理や実施状況報告書の整理を基本としつつ、各拠点に確認)
 (設備：大型設備利用型、資料：研究資料提供型、共研：共同研究型)
 ・研究機関名の後の「★」は従前の全国共同利用型の附置研究所・研究センター(48研究施設)

a①:理工学系(大型設備利用型)(14拠点) 【担当委員:4名程度、1人当たり担当数:(主)3~4拠点、(副)7拠点】

大学名	研究機関名	形態			研究分野	期末評価			認定期間
		設備	資料	共研		理工	医 生	人 社	
東北大学	電子光物理学研究センター	■		■	原子核物理学、加速器科学、物質科学	■			23 ~ 27
筑波大学	計算科学研究センター ★	■			計算科学、計算機科学	■			22 ~ 27
東京大学	宇宙線研究所 ★	■			宇宙線	■			22 ~ 27
東京大学	物性研究所 ★	■		■	物性科学	■			22 ~ 27
東京大学	素粒子物理国際研究センター ★	■			素粒子物理学	■			22 ~ 27
京都大学	生存圏研究所 ★	■	■	■	生存圏科学	■			22 ~ 27
京都大学	原子炉実験所 ★	■			複合原子力科学	■			22 ~ 27
大阪大学	核物理研究センター ★	■		■	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	■			22 ~ 27
大阪大学	レーザーエネルギー学研究センター ★	■		■	プラズマ科学	■			22 ~ 27
広島大学	放射光科学研究センター ★	■		■	物質科学	■			22 ~ 27
高知大学	海洋コア総合研究センター ★	■			地球惑星科学	■			22 ~ 27
九州大学	応用力学研究所 ★	■		■	応用力学	■			22 ~ 27
佐賀大学	海洋エネルギー研究センター ★	■			熱工学、エネルギー学、船舶海洋工学	■			22 ~ 27
学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点	北海道大学(情報基盤センター) ★	■		■	計算科学、計算機科学	■			22 ~ 27
	東北大学(サイバーサイエンスセンター) ★								
	○ 東京大学(情報基盤センター) ★								
	東京工業大学(学術国際情報センター)								
	名古屋大学(情報基盤センター) ★								
	京都大学(学術情報メディアセンター) ★								
	大阪大学(サイバーメディアセンター) ★								
九州大学(情報基盤研究開発センター) ★									

a②:理工学系(共同研究型)(22拠点) 【担当委員:6名程度、1人当たり担当数:(主)3~4拠点、(副)7~8拠点】

大学名	研究機関名	形態			研究分野	期末評価			認定期間
		設備	資料	共研		理工	医 生	人 社	
北海道大学	低温科学研究所 ★			■	低温科学	■			22 ~ 27
北海道大学	触媒化学研究センター ★			■	触媒化学、サステナブル触媒工学	■			22 ~ 27
東北大学	金属材料研究所 ★	■		■	材料科学	■			22 ~ 27
東北大学	電気通信研究所 ★			■	情報通信	■			22 ~ 27
東北大学	流体科学研究所			■	流体科学	■			22 ~ 27
千葉大学	環境リモートセンシング研究センター ★		■	■	環境動態解析	■			22 ~ 27
東京大学	地震研究所 ★			■	固体地球科学、自然災害科学	■			22 ~ 27
東京大学	空間情報科学研究センター ★		■	■	空間情報科学	■			22 ~ 27
東京工業大学	応用セラミックス研究所 ★			■	材料工学、応用物理学・工学基礎	■			22 ~ 27
静岡大学	電子工学研究所			■	電子デバイス・電子機器	■			25 ~ 27
名古屋大学	太陽地球環境研究所 ★	■	■	■	太陽地球系科学	■			22 ~ 27
名古屋大学	地球水循環研究センター ★			■	地球水循環	■			22 ~ 27
京都大学	防災研究所 ★			■	社会・安全システム科学(自然災害科学)	■			22 ~ 27
京都大学	基礎物理学研究所 ★			■	理論物理学	■			22 ~ 27
京都大学	数理解析研究所 ★			■	数学、数理科学	■			22 ~ 27
京都大学	化学研究所	■	■	■	化学	■			22 ~ 27
京都大学	エネルギー理工学研究所			■	エネルギー科学	■			23 ~ 27
大阪大学	接合科学研究所 ★			■	材料加工・処理	■			22 ~ 27
岡山大学	地球物質科学研究センター ★			■	地球惑星物質科学	■			22 ~ 27
愛媛大学	地球深部ダイナミクス研究センター	■	■	■	超高压地球惑星科学・超高压物質科学	■			25 ~ 27
九州大学	マス・フォア・インダストリ研究所			■	数学・数理科学	■			25 ~ 27
物質・デバイス領域共同研究拠点	北海道大学(電子科学研究所)	■		■	物質・デバイス科学	■			22 ~ 27
	東北大学(多元物質科学研究所)								
	東京工業大学(資源化学研究所)								
	○ 大阪大学(産業科学研究所)								
	九州大学(先導物質化学研究所)								

b①: 医学・生物学系(医学系)(18拠点)

【担当委員:5名程度、1人当たり担当数:(主)3~4拠点、(副)7~8拠点】

大学名	研究機関名	形態			研究分野	期末評価			認定期間
		設備	資料	共研		理工	医	人社	
北海道大学	遺伝子病制御研究所			■	基礎医学		■		22 ~ 27
北海道大学	人獣共通感染症リサーチセンター			■	人獣共通感染症学		■		22 ~ 27
東北大学	加齢医学研究所			■	加齢医学		■		22 ~ 27
群馬大学	生体調節研究所			■	内分泌・代謝学		■		22 ~ 27
千葉大学	真菌医学研究センター ★			■	真菌学		■		22 ~ 27
東京大学	医科学研究所			■	基礎・応用医科学		■		22 ~ 27
東京医科歯科大学	難治疾患研究所			■	医歯学・基礎生物学		■		22 ~ 27
新潟大学	脳研究所			■	神経科学		■		22 ~ 27
富山大学	和漢医薬学総合研究所	■		■	医学・薬学		■		22 ~ 27
金沢大学	がん進展制御研究所			■	腫瘍学		■		23 ~ 27
京都大学	再生医学研究所 ★			■	再生医学・再生医療		■		22 ~ 27
京都大学	ウイルス研究所			■	ウイルス学、実験病理学、分子生物学		■		22 ~ 27
大阪大学	微生物病研究所			■	感染症学・生体応答医学		■		22 ~ 27
広島大学	原爆放射線医科学研究所			■	放射線影響・医科学		■		22 ~ 27
徳島大学	疾患酵素学研究センター			■	病態医科学		■		22 ~ 27
九州大学	生体防御医学研究所			■	基礎医学、生物科学		■		22 ~ 27
長崎大学	熱帯医学研究所 ★	■		■	熱帯医学		■		22 ~ 27
熊本大学	発生医学研究所			■	発生医学		■		22 ~ 27

b②: 医学・生物学系(生物学系)(12拠点)

【担当委員:4名程度、1人当たり担当数:(主)3拠点、(副)6拠点】

大学名	研究機関名	形態			研究分野	期末評価			認定期間
		設備	資料	共研		理工	医	人社	
帯広畜産大学	原虫病研究センター ★		■	■	寄生虫学、応用獣医学		■		22 ~ 27
筑波大学	遺伝子実験センター			■	植物遺伝子研究		■		22 ~ 27
東京大学	大気海洋研究所 ★	■		■	大気海洋科学		■		22 ~ 27
京都大学	霊長類研究所 ★		■	■	自然人類学		■		22 ~ 27
京都大学	生態学研究センター ★	■	■	■	生態、環境		■		22 ~ 27
京都大学	放射線生物研究センター ★			■	放射線生物学		■		22 ~ 27
京都大学	野生動物研究センター			■	野生動物学		■		23 ~ 27
大阪大学	蛋白質研究所 ★	■	■	■	生物分子科学		■		22 ~ 27
鳥取大学	乾燥地研究センター ★			■	乾燥地科学		■		22 ~ 27
岡山大学	資源植物科学研究所			■	植物遺伝資源学、植物環境応答学、分子育種学		■		22 ~ 27
琉球大学	熱帯生物圏研究センター ★			■	環境生命科学		■		22 ~ 27
海洋生物学研究共同推進拠点	○ 筑波大学(下田臨海実験センター) 東京大学(海洋基礎生物学研究推進センター)			■	海洋生物学		■		22 ~ 27

c: 人文・社会科学系(11拠点)

【担当委員:3名程度、1人当たり担当数:(主)3~4拠点、(副)7~8拠点】

大学名	研究機関名	形態			研究分野	期末評価			認定期間
		設備	資料	共研		理工	医	人社	
北海道大学	スラブ・ユーラシア研究センター ★		■	■	地域研究			■	22 ~ 27
東京大学	史料編纂所			■	日本史			■	22 ~ 27
東京大学	東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター		■	■	アジア研究			■	22 ~ 27
東京大学	社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター		■	■	社会学、経済学			■	22 ~ 27
東京外国語大学	アジア・アフリカ言語文化研究所 ★			■	言語学、文化人類学、地域研究分野			■	22 ~ 27
一橋大学	経済研究所	■		■	経済統計学、経済政策			■	22 ~ 27
京都大学	人文科学研究所			■	人文学			■	22 ~ 27
京都大学	経済研究所			■	理論経済学			■	22 ~ 27
京都大学	東南アジア研究所			■	地域研究			■	22 ~ 27
京都大学	地域研究統合情報センター ★			■	地域研究			■	22 ~ 27
大阪大学	社会経済研究所			■	行動経済学			■	22 ~ 27

期末評価用調書に関する記入・提出要領

1. 記入要領

(1) 共通的事項

- ・ 調書は全て日本工業規格 A4 版で作成してください。
- ・ 調書は各シートに分かれています。全体で通るようにページ番号を付してください。
- ・ 修正液や修正テープ等は使用しないでください（誤記入があった場合は、改めて作成してください）。
- ・ 文字の大きさは、9～10pt 程度で作成してください。なお、画面上では表示されている場合でも、印刷の際に隠れることがありますのでご注意ください。
- ・ 記述量により、枠が不足する場合は、適宜行の挿入や行の高さの変更を行ってください。ただし、データを記入いただく項目や列の幅を変更するなどの修正は行わないでください。また、行の挿入等により、枠の途中でページが切れる場合は、適宜「改ページ」を行うなど、体裁を整えてください。なお、表示倍率の変更は行わないでください。
- ・ 計算式が入力されているセル（水色セル）については、変更を加えないでください。
- ・ 該当する事項がない場合は、「該当なし」や「－（バー）」を記入し、その旨がわかるようにしてください。該当するが、対象者等がない場合には「0」を記入してください。
- ・ 不要な行については削除しても差し支えありませんが、調査項目自体の削除や列やセル単位の削除は行わないでください。
- ・ 年度別の実績を記入する項目については、拠点認定期間の対象となっている年度の状況を記載してください。ただし、平成 21 年度からの実績を求めている項目については、拠点認定の前年度からの実績を記入してください。
- ・ 専門外の人でも分かりやすい文章となるよう簡潔な記載を心がけてください。
- ・ ヘッダーに大学名と研究所等名を記入してください。ネットワーク型拠点の場合は、総括票には拠点名、個票には大学名と研究所等名をシート毎に記入してください。

(2) 【単独拠点】各項目の記入要領

I. 研究施設の概要

- ・ 以下 1～4 について、拠点認定を受けている研究施設に関する状況を記入してください。なお、研究施設の一部（附属センター等）が拠点となっている場合は、その部分を切り出して記入してください。

1. 目的・概要

- ・ 「大学名」の欄には、大学名を記入してください。
- ・ 「学長名」の欄には、学長の氏名を記入してください。
- ・ 「研究施設名」の欄には、拠点となっている研究所、センター等の名称を記入してください。
- ・ 「研究施設代表者名」の欄には、研究所、センター等の代表者（所長、センター長等）の氏名を記入してください。
- ・ 「研究拠点の名称」の欄には、現在認定を受けている拠点の名称を記入してください。
- ・ 「目的・概要（研究施設として）」の欄には、拠点となっている研究施設の設置目的と概要を 200 字程度で記入してください。
- ・ 「特記事項」の欄には、研究施設としてアピールしたいこと（研究施設の特徴や認定

期間におけるトピック等)を200字程度で記入してください。なお、東日本大震災の影響により、拠点としての活動に支障があった場合は、その具体的な被害状況等を記載してください。

2. 人員

(1) 人員

- 研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、年度別にそれぞれの5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(併任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。

※ 常勤・非常勤は、基本的に学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください。

(常勤：法令上の任期、特定有期雇用等、非常勤：短時間雇用等)

- ※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名(教授、准教授、講師、助教、助手)に含めて記入してください。

(参考)

学校基本調査 第3条2項(抜粋)

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

学校基本調査－用語の解説(抜粋)

本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

- ※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。
- ※ 任期制を導入していない場合は記入欄に斜線を引いてください。
- ※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

(2) 人材の流動性

- 研究教育職員(常勤)について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「(新規採用者・転入者数)」・「(内部昇任者数)」・「(退職者数)」・「(転出者数)」の内数を記入してください。

※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において助教に1を記入してください。

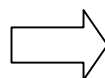
※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。

- 研究教育職員(常勤)について、各職名毎に、転入者については「転入元」の転出者については転出先の機関名(大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等)及び職名を記入してください。

※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。

(例)

教授	
准教授	



教授	××××… ----- △△△△…
准教授	

3. 予算の状況

- 研究施設における年度別の決算額について、「支出合計」及び、その内数として「人件費」、「運営委員会経費」、「共同研究費」、「共同研究旅費」、「設備費」を千円単位で記入してください。「下記(注)参照」の欄には、決算額のうち国立大学法人運営費交付金(特別経費(全国共同利用・共同実施分))の額を記入してください。

なお、調査時点で決算が確定していない平成 26 年度については、提出時点における暫定値を記入してください。

4. 研究施設の研究実績等

- 「研究施設における研究成果の概要」には、拠点認定期間中における当該研究施設の研究者による、国際的に優れた研究成果や社会・経済・文化に大きな影響を与えた研究成果について、一年度あたり 3 件以内を目安に記入してください。

なお、対象となる「関係研究者」には、当該研究施設の教員の他、大学院生等も含まれますが、その場合は、研究者名の欄にその旨を明記してください。

- 「競争的資金等の採択状況」には、当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数(上段:新規、下段:全体)、金額、直接経費の合計(上段)及び間接経費の合計(下段)を記入してください。「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。その中で主なものについて、一年度あたり 3 件以内を目安に、研究課題名等を記入してください。

また、「民間等との共同研究」、「受託研究」、「奨学寄附金」について、年度別の受入件数及び受入額を記入してください。

※ 件数のうち新規には新規採択課題の件数を、全体には新規採択課題と継続課題の合計件数を記入してください。

※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。

※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。

※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒しした場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。

※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。

- 「主な受賞状況」については、過去 5 年間における主な受賞状況について、10 件を上限に記入してください。
- 「当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数」については、当該研究施設における研究で博士号を取得した大学院生の数について、年度別に、学内と学外に分けて記入してください。
- 上記の各項目について、大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、「(注)」の欄にその事情を記載してください。また、各項目に替わるデータを示すことができる場合は、それぞれの項目に記入してください。

(例) 大学の組織構成上、併任教員の実績が研究施設の実績として正しくカウントすることができないため、当該研究施設とは別の組織に所属する教員の実績を記入する等

II. 拠点の概要

1. 目的・概要・役割

- ・ 「研究施設名」の欄には、拠点となっている研究所、センター等の名称を記入してください。
- ・ 「研究施設代表者名」の欄には、研究所、センター等の代表者（所長、センター長等）の氏名を記入してください。
- ・ 「研究拠点の名称」の欄には、現在認定を受けている拠点の名称を記入してください。
- ・ 「共同利用・共同研究の形態」の欄には、該当する形態に「○」印を記入してください。複数選択も可能です。
- ・ 「研究分野」の欄には、拠点の研究分野を記入してください。
- ・ 「目的・概要（拠点として）」の欄には、拠点の目的と概要を 200 字程度で記入してください。
- ・ 「拠点の役割」の欄には、関連分野の学術研究の推進にとって拠点として果たす役割を記入してください。また、同一分野に複数の拠点が存在する場合は、当該分野における拠点毎の役割も記入してください。

2. 認定更新の希望の有無

- ・ 認定更新の希望について、該当する項目に「○」印を記入してください。
※ 異なる形態とは、例えば単独拠点からネットワーク型に変更する場合や、既存のネットワーク型拠点の大枠を変えずに新たな研究施設を構成機関として追加する場合等です。

3. 大学学則、大学組織規則等への記載状況

- ・ 当該研究施設が記載されている学則等（学則に準ずる内規等も含む）を別紙として添付してください。

4. 組織図

- ・ 拠点の組織図を記載してください。その際、運営委員会等の位置付けも併せて記入してください。

5. 運営委員会等の状況

- ・ 「運営委員会等の開催実績」については、年度別の開催回数を記入してください。
- ・ 「運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等」については、別紙として添付してください。
- ・ 「運営委員会等及び共同研究委員会等に関する議事録等」については、別紙として添付してください。
- ・ 「運営委員会等の所属者名等」及び「共同研究委員会等の所属者名等」については、それぞれ最新の名簿を、「運営委員会等の所属者名等」には委員数も区分ごとに記入してください。なお、運営委員会等が共同研究委員会等の役割を担っている場合は、「共同研究委員会等の所属者名等」の記入を省略して構いません。
※ 数が多い場合も「別添参照」等とせず、記入してください。

6. 情報発信の取組状況

- ・ 共同利用・共同研究の募集や施設の利用方法等に関する情報発信の状況について、その時期と概要を記入してください。

また、ホームページ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等のインターネットを活用した情報発信の状況について、その時期と概要を記入してください。

7. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

- ・ 応募件数及び採択件数、採択件数のうち国際共同研究数について、年度別に実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外にわけて、年度別に実績を記入してください。

また、共同利用・共同研究課題の採択課題リストを別紙として添付してください。様式は任意ですが、課題名、代表者の所属・氏名、共同研究者の所属機関、参加者数（学内・学外）、金額、期間、分野等の項目があれば記載したものとしてください。

8. 共同利用・共同研究の参加状況

- ・ 共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。

※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「学内」の「機関数」については学部等の数を記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

- (例) 1. ひとつの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した）場合：参加人数2人、延べ人数6人
2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：参加人数2人、延べ人数7人

9. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等

共同利用・共同研究の形態に従い、必要な項目を記入してください。また、中間評価用調書で記入していた項目についても記入してください。記入しない場合は、欄外に記入しない理由を記入してください。

- ・ 「施設・設備の利用状況」については、共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要及び目的を記入のうえ、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」または「△（国内最高）」を記入し、「施設・設備の概要及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数（共同利用・共同研究者数）」（内数）については延べ人数で算出してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。

※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のう

ち、民間等に貸し出す時間等を指します。

- ・ 「学術資料の利用・提供・整備状況」については、共同利用・共同研究に供する学術資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入のうえ、資料の保有数や利用・提供区分、利用件数に係るデータを年度別に記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。

※ 利用件数は、上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。

- ・ 「データベースの作成・公開状況」については、共同利用・共同研究に供するデータベースの名称、蓄積情報の概要、公開方法を記入のうえ、蓄積量及び利用件数に係るデータを年度別に記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。

※ 「利用件数」には、データベースへのアクセス件数を記入してください。上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。

※ 利用件数をカウントできないものについては、欄外にその理由を記入してください。

1 0. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある研究活動

- ・ 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある研究活動実績について、簡潔かつ具体的に記入してください。

1 1. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組状況

- ・ 全国の関連研究者の参加を促進するための取組実績について、簡潔かつ具体的に記入してください。

1 2. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組

- ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成に関する特色ある取組実績について、簡潔かつ具体的に記入してください。

1 3. 関連分野発展への取組（大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築等）

- ・ 多数の研究者の参加を要する大型プロジェクトの発案や運営、研究推進のためのネットワーク構築等、関連研究分野の発展に貢献した取組について、簡潔かつ具体的に記入してください。

※ 日本学術会議のマスタープラン、ロードマップに採択されている計画に参加・先導している場合は、その計画の実現への寄与等についても記入してください。

1 4. 当該コミュニティにおける位置付け（類似の研究所等との関係性、研究分担等）

- ・ 当該拠点のコミュニティにおける位置付けについて、簡潔かつ具体的に記入してください。

※ 類似の拠点や研究所等がある場合は、関係性や連携、研究分担等についても記入してください。

1 5. 拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況

- ・ 他の共同利用・共同研究拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況につ

いて、簡潔かつ具体的に記入してください。

16. 拠点活動に対する全学的な支援の状況（人員、予算を含む）

- ・ 人員や予算の措置等、拠点の活動に対する大学としての支援状況を簡潔かつ具体的に記入してください。

Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

1. 参加する研究者への支援体制の状況

- ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数」については、各区分の専任及び兼任の職員数について年度別に記入してください。
 - ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況」については、拠点の共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況を簡潔かつ具体的に記入してください。なお、東日本大震災で被災した研究者に対する支援（研究者の受入等）を実施した場合は、その概要も記入してください。
- ※ 非常勤職員は兼任の欄に記入してください。

2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況

- ・ 共同研究者の研究スペースの確保や宿泊施設の確保等、共同利用・共同研究に参加する研究者の利便性の向上等を目的とした取組を簡潔かつ具体的に記入してください。

3. 参加する研究者の支援のための特色ある取組

- ・ 拠点の共同利用・共同研究に参加する研究者の支援のための特色ある取組を簡潔かつ具体的に記入してください。

Ⅳ. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況

- ・ 関連分野の研究者コミュニティの意見や学術動向の把握を図るための取組状況及びそれら意見等への対応状況を簡潔に記入してください。特に、認定申請時に要望書を添付した研究者コミュニティの意見把握の取組とその対応状況については、具体的に記入してください。

Ⅴ. 共同利用・共同研究による成果

1. 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果

- ・ 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果（3つまで）について、成果の概要を150字程度で簡潔かつ具体的に記入してください。
また、当該成果をまとめた代表的な論文や著作物等がある場合は、発表年月及び論文名や著作者名についても記入してください。
- ※ 拠点外の研究者については、該当者名にアンダーラインを付してください。

2. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

- ・ 共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、著者の構成により下の5つに分けて年度別、区分毎に記入してください。
(1) 拠点に所属する者（大学院生を含む）のみの論文
※ 共同利用・共同研究による成果であるが、論文にした際には拠点に所属する者のみを共著者としている論文数を記入してください。

(2) 拠点に所属する者と拠点以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

※ 共同利用・共同研究による成果について、申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

(3) 拠点以外の者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文

※ 拠点に所属する者を共著者として含まず、かつ、Acknowledgement（謝辞）に拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(4) 国内の研究機関（拠点を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

※ 国内の研究機関（拠点を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文であって、拠点に所属する者を含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

※ 国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文であって、かつ、Acknowledgement（謝辞）に拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

※ 拠点に所属する者とは、「I. 研究施設の概要」の「2. 人員」に含めた教職員及び指導している大学院生、ポスドク等の研究員としてください。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ (2) (4) については、括弧内に拠点に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

・ 上記論文実績のうち、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載されたものについては、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主な論文の掲載年月及び論文名、発表者氏名を記入してください。

※ 拠点外の研究者による実績については、「発表者名」における該当者名にアンダーラインを付してください。

※ インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、「(注)」の欄に適切な指標とその理由を記入のうえで、掲載雑誌名等を記入してください。

3. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

※ 人文社会系で単著が成果の中心となるような分野等について、適切な評価指標等を記入してください。

4. 共同利用・共同研究機能が重要な役割を果たした特筆すべき研究成果（特許や今後、成果物（論文や著作物等）として公表する予定の成果を含む）

・ 国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果、異分野融合による新分野の創成等、共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果について、10件まで厳選して記入してください。

※ 論文等の成果として公表されていない場合でも、今後、成果物として公表すること

が確実なものについては、その旨を記入してください。

5. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等

- ・ プロジェクト研究に発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクト研究の名称と財源（国の補助事業等）、期間、概要を記入してください。

6. シンポジウム等の実施状況

- ・ 「主に研究者を対象としたもの」には、共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- ・ 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの 10 件に限定して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
 - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。
- ・ 「主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの」には、主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- ・ 「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの 10 件に限定して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。
 - ※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。

VI. 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献（最終的なアウトカム）

- ・ 拠点として、関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献を果たした実績について具体的に記入してください。

VII. 中間評価結果のフォローアップ状況

- ・ 平成 25 年度から認定された拠点は中間評価を受けていないため記入不要です。

1. 評価結果

- ・ 中間評価結果を基に、評価区分を選択し、評価コメントを転記してください。

2. 評価結果への対応状況

- ・ 中間評価の評価結果を受けての対応状況を記入してください。
 - ※ 中間評価結果に事実誤認等がある場合は、「評価結果の対応状況」欄にその旨を記入してください。

VIII. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献

- ・ 次期認定（新規申請を含む）を希望する拠点のみ記入してください。
- ・ 拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組、社会（地域）貢献等、拠点を置く大学（法人）の機能強化や特色の明確化に果たした役割を記入してください。

IX. 第3期における拠点としての方向性

1. 拠点として、第3期においてどのようなミッションを持ち当該分野を牽引し、発展させていくのか。（第2期における当該分野への貢献状況等を含めて記入）
 - ・ 当該分野の拠点としての現状の課題や、グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等について今後の展望について具体的に記入してください。
2. 大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか。
 - ・ 大学として、現在の拠点の学内における位置付けや評価を記載し、それを踏まえたうえで、今後どのように発展させていくのか、どのような役割を期待しているのか、人員の措置や予算の配分等を含めて記入してください。

(3) 【ネットワーク型拠点】各項目の記入要領

【総括票】

I. 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況

1. 目的・概要・役割

- ・ 「研究施設名」の欄には、中核拠点となっている研究所、センター等の名称を記入してください。
- ・ 「研究施設代表者名」の欄には、中核拠点となっている研究所、センター等の代表者（所長、センター長等）の氏名を記入してください。
- ・ 「研究拠点の名称」の欄には、現在認定を受けている拠点の名称を記入してください。
- ・ 「共同利用・共同研究の形態」の欄には、該当する形態に「○」印を記入してください。複数選択も可能です。
- ・ 「研究分野」の欄には、拠点の研究分野を記入してください。
- ・ 「目的・概要（拠点として）」の欄には、拠点の目的と概要を 200 字程度で記入してください。
- ・ 「拠点の役割」の欄には、関連分野の学術研究の推進にとって拠点として果たす役割、各構成機関の果たすべき役割を 200 字程度で記入してください。また、同一分野に複数の拠点が存在する場合は、当該分野における拠点毎の役割も記入してください。
- ・ 「特記事項」の欄には、拠点としてアピールしたいこと（拠点の特徴や認定期間におけるトピック等）を 200 字程度で記入してください。なお、東日本大震災の影響により、拠点としての活動に支障があった場合は、その具体的な被害状況等を記載してください。

2. 認定更新の希望の有無

- ・ 認定更新の希望について、該当する項目に「○」印を記入してください。
※ 異なる形態とは、例えば単独拠点からネットワーク型に変更する場合や、既存のネットワーク型拠点の大枠を変えずに新たな研究施設を構成機関として追加する場合等です。

3. 組織図

- ・ 拠点の組織図を記載してください。その際、運営委員会等の位置付けも併せて記入してください。

4. 運営委員会等の状況

- ・ 「運営委員会等の開催実績」については、年度別の開催回数を記入してください。
 - ・ 「運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等」については、別紙として添付してください。
 - ・ 「運営委員会等及び共同研究委員会等に関する議事録等」については、別紙として添付してください。
 - ・ 「運営委員会等の所属者名等」及び「共同研究委員会等の所属者名等」については、それぞれ最新の名簿を、「運営委員会等の所属者名等」には委員数も区分ごとに記入してください。なお、運営委員会等が共同研究委員会等の役割を担っている場合は、「共同研究委員会等の所属者名等」の記入を省略して構いません。
- ※ 数が多い場合も「別添参照」等とせず、記入してください。

5. 情報発信の取組状況

- ・ 共同利用・共同研究の募集や施設の利用方法等に関する情報発信の状況について、その時期と概要を記入してください。
また、ホームページ、ソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）等のインターネットを活用した情報発信の状況について、その時期と概要を記入してください。

6. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

- ・ 応募件数及び採択件数、採択件数のうち国際共同研究数について、年度別に実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外にわけて、年度別に実績を記入してください。
また、共同利用・共同研究課題の採択課題リストを別紙として添付してください。様式は任意ですが、課題名、代表者の所属・氏名、共同研究者の所属機関、参加者数（学内・学外）、金額、期間、分野等の項目があれば記載したものとしてください。

7. 共同利用・共同研究の参加状況

- ・ 共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。
※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。
※ 「学内」を「ネットワーク内」として記入してください。
※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。
（例） 1. ひとつの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた（参加した）場合：参加人数2人、延べ人数6人
2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：参加人数2人、延べ人数7人

8. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある研究活動

- ・ 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある研究活動実績について、簡潔かつ具体

的に記入してください。

9. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組状況

- ・ 全国の関連研究者の参加を促進するための取組実績について、簡潔かつ具体的に記入してください。

10. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組

- ・ 共同利用・共同研究を活かした人材育成に関する特色ある取組実績について、簡潔かつ具体的に記入してください。

11. 関連分野発展への取組（大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築 等）

- ・ 多数の研究者の参加を要する大型プロジェクトの発案や運営、研究推進のためのネットワーク構築等、関連研究分野の発展に貢献した取組について、簡潔かつ具体的に記入してください。

※ 日本学術会議のマスタープラン、ロードマップに採択されている計画に参加・先導している場合は、その計画の実現への寄与等についても記入してください。

12. 当該コミュニティにおける位置付け（類似の研究所等との関係性、研究分担 等）

- ・ 当該拠点のコミュニティにおける位置付けについて、簡潔かつ具体的に記入してください。

※ 類似の拠点や研究所等がある場合は、関係性や連携、研究分担等についても記入してください。

13. 拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況

- ・ 他の共同利用・共同研究拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況について、簡潔かつ具体的に記入してください。

II. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

1. 参加する研究者への支援体制の状況

- ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数」については、各区分の専任及び兼任の職員数について年度別に記入してください。
 - ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況」については、拠点の共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況を簡潔かつ具体的に記入してください。なお、東日本大震災で被災した研究者に対する支援（研究者の受入等）を実施した場合は、その概要も記入してください。
- ※ 非常勤職員は兼任の欄に記入してください。

2. 参加する研究者の支援のための特色ある取組

- ・ 拠点の共同利用・共同研究に参加する研究者の支援のための特色ある取組を簡潔かつ具体的に記入してください。

III. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況

- ・ 関連分野の研究者コミュニティの意見や学術動向の把握を図るための取組状況及びそ

れら意見等への対応状況を簡潔に記入してください。特に、認定申請時に要望書を添付した研究者コミュニティの意見把握の取組とその対応状況については、具体的に記入してください。

IV. 共同利用・共同研究による成果

1. 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果

- 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果（3つまで）について、成果の概要を150字程度で簡潔かつ具体的に記入してください。

また、当該成果をまとめた代表的な論文や著作物等がある場合は、発表年月及び論文名や著作者名についても記入してください。

※ 拠点外の研究者については、該当者名にアンダーラインを付してください。

2. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

- 共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、著者の構成により下の5つに分けて年度別、区分毎に記入してください。

(1) 拠点に所属する者（大学院生を含む）のみの論文

※ 共同利用・共同研究による成果であるが、論文にした際には拠点に所属する者のみを共著者としている論文数を記入してください。

(2) 拠点に所属する者と拠点以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

※ 共同利用・共同研究による成果について、申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

(3) 拠点以外の者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文

※ 拠点に所属する者を共著者として含まず、かつ、Acknowledgement（謝辞）に拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(4) 国内の研究機関（拠点を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

※ 国内の研究機関（拠点を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文であって、拠点に所属する者を含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果である旨の記載がある論文を記入してください。

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

※ 国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文であって、かつ、Acknowledgement（謝辞）に拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の記載がある論文を記入してください。

※ 拠点に所属する者とは、個票「I. 研究施設の概要」の「2. 人員」に含めた教職員及び指導している大学院生、ポスドク等の研究員としてください。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ (2) (4) については、括弧内に拠点に所属する者（大学院生を含む）が、特に重要な役割・高い貢献（ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等）を果たしている論文数（内数）を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

- 上記論文実績のうち、高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載されたものにつ

いては、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主な論文の掲載年月及び論文名、発表者氏名を記入してください。

※ 拠点外の研究者による実績については、「発表者名」における該当者名にアンダーラインを付してください。

※ インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、「(注)」の欄に適切な指標とその理由を記入のうえで、掲載雑誌名等を記入してください。

3. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

※ 人文社会系で単著が成果の中心となるような分野等について、適切な評価指標等を記入してください。

4. 共同利用・共同研究機能が重要な役割を果たした特筆すべき研究成果（特許や今後、成果物（論文や著作物等）として公表する予定の成果を含む）

- ・ 国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果、異分野融合による新分野の創成等、共同利用・共同研究による特筆すべき研究成果について、10件まで厳選して記入してください。

※ 論文等の成果として公表されていない場合でも、今後、成果物として公表することが確実なものについては、その旨を記入してください。

5. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等

- ・ プロジェクト研究に発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクト研究の名称と財源（国の補助事業等）、期間、概要を記入してください。

6. シンポジウム等の実施状況

- ・ 「主に研究者を対象としたもの」には、共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施した研究会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。

- ・ 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。

※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。

- ・ 「主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの」には、主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。

- ・ 「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの10件に限定して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。

※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー

一等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。

V. ネットワーク型拠点の特徴的事業実績

- ・ 単独拠点では実現できなかったであろう、ネットワーク型拠点ならではの特徴的な事業実績について幅広く具体的に数値等も含め記入してください。

VI. 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献（最終的なアウトカム）

- ・ 拠点として、関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献を果たした実績について具体的に記入してください。

VII. 中間評価結果のフォローアップ状況

1. 評価結果

- ・ 中間評価結果を基に、評価区分を選択し、評価コメントを転記してください。

2. 評価結果への対応状況

- ・ 中間評価の評価結果を受けての対応状況を記入してください。

※ 中間評価結果に事実誤認等がある場合は、「評価結果の対応状況」欄にその旨を記入してください。

VIII. 国立大学全体の機能強化への貢献

- ・ 次期認定（新規申請を含む）を希望する拠点のみ記入してください。
- ・ 拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組、社会（地域）貢献等、拠点を置く大学（法人）の枠を越えて国立大学全体の機能強化や特色の明確化に果たした役割を記入してください。

IX. 第3期における拠点としての方向性

1. 拠点として、第3期においてどのようなミッションを持ち当該分野を牽引し、発展させていくのか。（第2期における当該分野への貢献状況等を含めて記入）
 - ・ 当該分野の拠点としての現状の課題や、グローバル化、人材養成機能の強化、新分野創成、異分野融合研究の推進等について今後の展望について具体的に記入してください。

【個票】

I. 研究施設の概要

- ・ 以下1～4について、拠点認定を受けている研究施設に関する状況を記入してください。なお、研究施設の一部（附属センター等）が拠点となっている場合は、その部分を切り出して記入してください。

1. 目的・概要

- ・ 「大学名」の欄には、大学名を記入してください。
- ・ 「学長名」の欄には、学長の氏名を記入してください。
- ・ 「研究施設名」の欄には、拠点となっている研究所、センター等の名称を記入してください。
- ・ 「研究施設代表者名」の欄には、研究所、センター等の代表者（所長、センター長等）の氏名を記入してください。

- ・ 「研究拠点の名称」の欄には、現在認定を受けている拠点の名称を記入してください。
- ・ 「目的・概要（研究施設として）」の欄には、拠点となっている研究施設の設置目的と概要を200字程度で記入してください。
- ・ 「特記事項」の欄には、研究施設としてアピールしたいこと（研究施設の特徴や認定期間におけるトピック等）を200字程度で記入してください。なお、東日本大震災の影響により、拠点としての活動に支障があった場合は、その具体的な被害状況等を記載してください。

2. 人員

(1) 人員

- ・ 研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、年度別にそれぞれの5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(併任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。

※ 常勤・非常勤は、基本的に学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください。

(常勤：法令上の任期、特定有期雇用等、非常勤：短時間雇用等)

※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名(教授、准教授、講師、助教、助手)に含めて記入してください。

(参考)

学校基本調査 第3条2項(抜粋)

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び栄養教諭並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

学校基本調査一用語の解説(抜粋)

本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

- ※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。
- ※ 任期制を導入していない場合は記入欄に斜線を引いてください。
- ※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

(2) 人材の流動性

- ・ 研究教育職員(常勤)について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「(新規採用者・転入者数)」・「(内部昇任者数)」・「(退職者数)」・「(転出者数)」の内数を記入してください。

※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において助教に1を記入してください。

※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。

- ・ 研究教育職員(常勤)について、各職名毎に、転入者については「転入元」の転出者については転出先の機関名(大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等)及び職名を記入してください。

※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。

(例)

教授		⇒	教授	××××…
准教授			准教授	△△△△…

3. 大学学則、大学組織規則等への記載状況

- 当該研究施設が記載されている学則等（学則に準ずる内規等も含む）を別紙として添付してください。

4. 組織図

- 拠点の組織図を記載してください。その際、運営委員会等の位置付けも併せて記入してください。

5. 予算の状況

- 研究施設における年度別の決算額について、「支出合計」及び、その内数として「人件費」、「運営委員会経費」、「共同研究費」、「共同研究旅費」、「設備費」を千円単位で記入してください。「下記（注）参照」の欄には、決算額のうち国立大学法人運営費交付金（特別経費（全国共同利用・共同実施分））の額を記入してください。
なお、調査時点で決算が確定していない平成 26 年度については、提出時点における暫定値を記入してください。

6. 研究施設の研究実績等

- 「研究施設における研究成果の概要」には、拠点認定期間中における当該研究施設の研究者による、国際的に優れた研究成果や社会・経済・文化に大きな影響を与えた研究成果について、一年度あたり 3 件以内を目安に記入してください。
なお、対象となる「関係研究者」には、当該研究施設の教員の他、大学院生等も含まれますが、その場合は、研究者名の欄にその旨を明記してください。
 - 「競争的資金等の採択状況」には、当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数（上段：新規、下段：全体）、金額、直接経費の合計（上段）及び間接経費の合計（下段）を記入してください。
「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。その中で主なものについて、一年度あたり 3 件以内を目安に、研究課題名等を記入してください。
また、「民間等との共同研究」、「受託研究」、「奨学寄附金」について、年度別の受入件数及び受入額を記入してください。
- ※ 件数のうち新規には新規採択課題の件数を、全体には新規採択課題と継続課題の合計件数を記入してください。
- ※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。
- ※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。
- ※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。
- ※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒しした場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

- ※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。
- ※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。
- ・ 「主な受賞状況」については、一年度あたり 3 件以内を目安に記入してください。
- ・ 「当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数」については、当該研究施設における研究で博士号を取得した大学院生の数について、年度別に、学内と学外に分けて記入してください。
- ・ 上記の各項目について、大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、「(注)」の欄にその事情を記載してください。また、各項目に替わるデータを示すことができる場合は、それぞれの項目に記入してください。
(例) 大学の組織構成上、併任教員の実績が研究施設の実績として正しくカウントすることができないため、当該研究施設とは別の組織に所属する教員の実績を記入する等

II. 共同利用・共同研究への取組状況

1. 共同利用・共同研究の参加状況

- ・ 共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数を区分に応じて年度別に記入してください。
- ※ 外国人、若手研究者（35 歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。
- ※ 「学内」の「機関数」については学部等の数を記入してください。
- ※ ネットワーク型拠点の場合は、「学内」を「ネットワーク内」として記入してください。
- ※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。
(例) 1. ひとつの共同利用・共同研究課題で 2 人を共同研究員として 3 日間受け入れた（参加した）場合：参加人数 2 人、延べ人数 6 人
2. 同一人物が 2 つの共同利用・共同研究課題（課題 A、課題 B）に参加し、課題 A に 3 日間、課題 B に 4 日間参加（来所）した場合：参加人数 2 人、延べ人数 7 人

2. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等

共同利用・共同研究の形態に従い、必要な項目を記入してください。また、中間評価用調書で記入していた項目についても記入してください。記入しない場合は、欄外に記入しない理由を記入してください。

- ・ 「施設・設備の利用状況」については、共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要及び目的を記入のうえ、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。
- ※ 数が膨大になる場合は、主なもの 5 件に限定して記入してください。
- ※ 世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」または「△（国内最高）」を記入し、「施設・設備の概要及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。
- ※ 「年間使用人数」、「共同利用者数（共同利用・共同研究者数）」（内数）については延べ人数で算出してください。
- ※ ネットワーク型拠点の場合は、「学内」をネットワーク型拠点の構成機関を置く大学

内として記入してください。

- ※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。
- ※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。
- ※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指します。
- ・ 「学術資料の利用・提供・整備状況」については、共同利用・共同研究に供する学術資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入のうえ、資料の保有数や利用・提供区分、利用件数に係るデータを年度別に記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。
 - ※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。
 - ※ 利用件数は、上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。
- ・ 「データベースの作成・公開状況」については、共同利用・共同研究に供するデータベースの名称、蓄積情報の概要、公開方法を記入のうえ、蓄積量及び利用件数に係るデータを年度別に記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に限定して記入してください。
 - ※ 「利用件数」には、データベースへのアクセス件数を記入してください。上段に総利用件数、下段に共同利用・共同研究者の利用件数（内数）を記入してください。
 - ※ 利用件数をカウントできないものについては、欄外にその理由を記入してください。

Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況

1. 参加する研究者への支援体制の状況

- ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数」については、各区分の専任及び兼任の職員数について年度別に記入してください。
- ・ 「共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況」については、拠点の共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況を簡潔かつ具体的に記入してください。なお、東日本大震災で被災した研究者に対する支援（研究者の受入等）を実施した場合は、その概要も記入してください。
 - ※ 非常勤職員は兼任の欄に記入してください。

2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況

- ・ 共同研究者の研究スペースの確保や宿泊施設の確保等、共同利用・共同研究に参加する研究者の利便性の向上等を目的とした取組を簡潔かつ具体的に記入してください。

Ⅳ. ネットワーク型拠点における当該研究施設の特徴的事業実績及び拠点活動が当該研究施設に及ぼした効果

- ・ 総括票に記入したネットワーク型拠点における当該研究施設の特徴的事業実績及び拠点活動が当該研究施設に及ぼした効果について、研究活動や人材の流動性、人材育成、情報発信等の幅広い観点から、数値等も含め具体的に記入してください。

Ⅴ. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献

- ・ 次期認定（新規申請を含む）を希望する拠点のみ記入してください。

1. 拠点を置く大学（法人）の機能強化・特色化への関わり
 - ・ 拠点を形成しその活動を推進することによって、グローバル化やイノベーションの創出、人材の育成や流動化に関する取組等、拠点を置く大学（法人）の機能強化や特色の明確化に果たした役割を記入してください。
2. 大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか。
 - ・ 大学として、現在の拠点の学内における位置付けや評価を記載し、それを踏まえたうえで、今後どのように発展させていくのか、どのような役割を期待しているのか、人員の措置や予算の配分等を含めて記入してください。

2. 提出要領

(1) 受付期間

平成27年5月27日（水）～5月29日（金）17:00【必着】

(2) 提出先

〒100-8959 千代田区霞が関3-2-2（東館17F）

文部科学省研究振興局学術機関課 大学研究所・研究予算総括係

※ 郵送する際、封筒に「共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書在中」と朱書きしてください。

(3) 提出形式

調書を提出する際は、別紙の様式を適宜活用の上、学長名の公文書にて提出してください。

(4) 提出部数等

① 提出書類等及び部数

- ・ 調書正本（公文書を調書の前に添付）：1部
- ・ 調書複本（上記調書正本から公文書を除いたもののコピー）：30部
- ・ 拠点認定時の申請書（公文書を除く本体のみ）：30部
- ・ 調書等のデータの入ったCD-R(W)：1枚

※ 調書（公文書を含む）及び認定時の申請書（公文書を除く本体のみ）をそれぞれPDFファイルにて提出してください。

※ 調書については、1. 調書、2. 大学等の学則等、3. 運営委員会等の設置規則等、4. 運営委員会等の議事録、5. 共同利用・共同研究の採択課題リストを別ファイルとし、併せて、全体をまとめたPDFファイルに頁数を付したものを作成し保存すること。（ネットワーク型拠点については申請施設毎のフォルダを設け保存するとともに、全体をまとめたPDFファイルに頁数を付したものを保存。）

② 書類のまとめ方

- ・ 提出書類は全体をまとめて頁数を付したもので、全て両面印刷（カラー可）にしてください。
- ・ 調書及び申請書は、1セット毎にそれぞれ左上一箇所をホチキス留め（製本テープは不可）してください。

- ・単独拠点については、以下の順番で全体をまとめて下さい。
 - ①期末評価用調書
 - ②大学等の学則等（申請施設を記載している規則）
 - ③運営委員会等の設置規則
 - ④運営委員会等の議事録
 - ⑤共同利用・共同研究の採択課題リスト
 - ・ネットワーク型拠点については、中核機関によるとりまとめの上、以下の順番で全体をまとめて下さい。
 - ①期末評価用調書（総括票）
 - ②運営委員会等の設置規則
 - ③運営委員会等の議事録
 - ④共同利用・共同研究の採択課題リスト
 - ⑤期末評価用調書（各施設毎の個票）
 - ⑥大学等の学則等（申請施設を記載している規則）
- ※⑤、⑥を研究施設毎にまとめて下さい。（例：A 研究所⑤⑥、B 研究所⑤⑥、C・・・）

（5）その他

- ・ 調書の記入・提出にあたって不明な点がある場合は、下記担当者まで問合せください。
 - ・ 問合せの窓口は事務局に一本化してください。
 - ・ 内容に関する問合せは原則メールにより行い、メールを送った際は、電話にてその旨を一報ください。
 - ・ メールの件名は、「XX【〇〇大学】期末評価に関する問合せ」としてください。
- ※「XX」には2桁の法人番号を記入してください。

【担当者】

文部科学省研究振興局学術機関課

大学研究所・研究予算総括係 山本、重松、北山

〒100-8959 千代田区霞が関 3-2-2 [東館 17F]

TEL : 03-6734-4084 (直通)

E-mail : gakkikan@mext.go.jp

(別紙)

文 書 番 号
平成 年 月 日

文部科学省研究振興局長 殿

大 学 名
学 長 名 印

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書の提出について

標記について、下記のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

記

共同利用・共同研究拠点の名称	拠点代表者所属・氏名

以上

期末評価用調書 【単独拠点用】

【期末評価に関する項目】

I 研究施設の概要	1 頁
II 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況	13 頁
III 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況	23 頁
IV 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況	24 頁
V 共同利用・共同研究による成果	25 頁
VI 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献 (最終的なアウトカム)	30 頁
VII 中間評価結果のフォローアップ状況 ※該当拠点のみ	31 頁

【次期認定に関する項目】※次期認定を希望する拠点のみ

VIII 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献	32 頁
IX 第3期における拠点としての方向性	33 頁

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅰ. 研究施設の概要】

(注)研究施設の一部(附属センター等)が拠点となっている場合、その部分を切り出して記載。

1. 目的・概要

大学名		学長名	
研究施設名		研究施設代表者名	
研究拠点の名称			
目的・概要 (研究施設として)			
特記事項 (研究施設としてアピールしたいこと)			

2. 人員

(1)人員

	平成21年度(H21.5.1現在)										平成22年度(H22.5.1現在)																					
	常勤					非常勤					総数	常勤					非常勤					総数										
	現員数	任期制導入状況				現員数	併任教員数	現員数	併任教員数	現員数		任期制導入状況				現員数	併任教員数	現員数	併任教員数													
		(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(任期付教員数)							(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)					(外国人数)	(若手数(35歳以下))		(任期付教員数)	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))						
教授											0																					0
准教授											0																					0
講師											0																					0
助教											0																					0
助手											0																					0
技術職員											0																					0
事務職員											0																					0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	平成23年度(H23.5.1現在)										平成24年度(H24.5.1現在)																									
	常勤					非常勤					常勤					非常勤																				
	任期制導入状況					併任教員数					任期制導入状況					併任教員数																				
	現員数		(任期付教員数)								現員数		(任期付教員数)								現員数		(任期付教員数)													
(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))													
教授																																				0
准教授																																				0
講師																																				0
助教																																				0
助手																																				0
技術職員																																				0
事務職員																																				0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	平成25年度(H25.5.1現在)										平成26年度(H26.5.1現在)																									
	常勤					非常勤					常勤					非常勤																				
	任期制導入状況					併任教員数					任期制導入状況					併任教員数																				
	現員数		(任期付教員数)								現員数		(任期付教員数)								現員数		(任期付教員数)													
(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))													
教授																																				0
准教授																																				0
講師																																				0
助教																																				0
助手																																				0
技術職員																																				0
事務職員																																				0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)人材の流動性
○人材の流動状況

	平成21年度						平成22年度						平成23年度					
	転入等			転出等			転入等			転出等			転入等			転出等		
	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)
(新規採用者・転入者数)		(内部昇任者数)	(新規採用者・転入者数)					(内部昇任者数)	(新規採用者・転入者数)					(内部昇任者数)				
教授	0			0			0			0			0			0		
准教授	0			0			0			0			0			0		
講師	0			0			0			0			0			0		
助教	0			0			0			0			0			0		
助手	0			0			0			0			0			0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	平成24年度						平成25年度						平成26年度					
	転入等			転出等			転入等			転出等			転入等			転出等		
	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)
(新規採用者・転入者数)		(内部昇任者数)	(新規採用者・転入者数)					(内部昇任者数)	(新規採用者・転入者数)					(内部昇任者数)				
教授	0			0			0			0			0			0		
准教授	0			0			0			0			0			0		
講師	0			0			0			0			0			0		
助教	0			0			0			0			0			0		
助手	0			0			0			0			0			0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】I. 研究施設の概要

○転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成25年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成26年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

3. 予算の状況

○歳出決算額

[単位:千円]

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照
支出合計						
うち、人件費						
うち、運営委員会経費(a)						
うち、共同研究費(b)						
うち、共同研究旅費(c)						
うち、設備費						
計(a+b+c)	0	0	0	0	0	0

[単位:千円]

区分	平成25年度		平成26年度		平均(認定年度～H26)		備考
	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	
支出合計					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、人件費					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、運営委員会経費(a)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、共同研究費(b)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、共同研究旅費(c)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、設備費					#DIV/0!	#DIV/0!	
計(a+b+c)	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	

(注)項目には、決算額のうち国立大学法人運営費交付金(特別経費(全国共同利用・共同実施分))の額を記載。

4. 研究施設の研究実績等

(1) 研究施設における研究成果の概要

年月	研究成果の概要	学術的意義又は社会・経済・文化的意義	関係研究者名

(2)競争的資金等の採択状況

区分	平成21年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-		-
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成21年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:	0	人
科学研究費	:	#DIV/0!	件 #DIV/0!
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件 #DIV/0!

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】 I. 研究施設の概要

区分	平成22年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費	特別推進研究	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	特定領域研究	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	新学術領域研究	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	基盤研究(S)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	基盤研究(A)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	基盤研究(B)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	基盤研究(C)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	挑戦的萌芽研究	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	若手研究(S)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
	若手研究(A)	新規		#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規		#DIV/0!	0		
全体			#DIV/0!			
研究活動スタート支援	新規		#DIV/0!	0		
全体			#DIV/0!			
研究成果公開促進費	新規		#DIV/0!	0		
全体			#DIV/0!			
特別研究促進費	新規		#DIV/0!	0		
全体			#DIV/0!			
学術創成研究費	新規		#DIV/0!	0		
全体			#DIV/0!			
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
全体	0	0	#DIV/0!	0	0	
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
全体				#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
全体				#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
全体				#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
全体	0	0	#DIV/0!	0	0	
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
全体	0	0	#DIV/0!	0	0	

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成22年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:	0	人
科学研究費	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円

区分	平成23年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成23年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:	0	人
科学研究費	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】 I. 研究施設の概要

区分	平成24年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計(千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成24年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:	0	人
科学研究費	:	#DIV/0!	件 #DIV/0!
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件 #DIV/0!

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】 I. 研究施設の概要

区分	平成25年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成25年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】 I. 研究施設の概要

区分	平成26年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成26年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)					
	区分	件数		採択率	金額 (%)	
		応募 %	採択 %		合計金額	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
特定領域研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
新学術領域研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(S)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(A)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(B)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(C)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
挑戦的萌芽研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(S)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(A)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(B)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
研究活動スタート支援	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
研究成果公開促進費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
特別研究促進費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
学術創成研究費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】I. 研究施設の概要

[単位: 件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳 (認定年度～H26)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				
小計			0	

[単位: 件、百万円]

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)
民間等との共同研究	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!
受託研究	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!
奨学寄付金	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!

(3) 主な受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となったの研究課題名

(4) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位: 人]

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数													#DIV/0!	#DIV/0!

(注) 大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、以下にその事情を記載のうえ、あわせて上記に替わるデータを示すことができる場合は記載((1)～(4)共通)。

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅱ. 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況】

1. 目的・概要・役割

研究施設名				
研究施設代表者名		認定年度		
研究拠点の名称				
共同利用・共同研究の形態	大型設備利用型	研究資料提供型	共同研究型	その他
研究分野				
目的・概要 (拠点として)				
拠点の役割(※)				
特記事項 (拠点としてアピールしたいこと)				

※上記で選択した共同利用・共同研究の形態として、研究者コミュニティ等に具体的にどのような貢献をしているか等についても記載

2. 認定更新の希望の有無

<input type="checkbox"/>	認定更新を希望する
<input type="checkbox"/>	認定更新は希望しないが、異なる形態で新規申請をしている
<input type="checkbox"/>	認定更新を希望しない

3. 大学学則、大学組織規則等への記載状況

当該研究施設を記載している学則等
(別紙として添付)

4. 組織図

--

5. 運営委員会等の状況

(1) 運営委員会等の開催実績

委員会名等	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
	回	回	回	回	回	回	#DIV/0! 回

(2) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等

(別紙として添付)

(3) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する議事録等

(別紙として添付)

(4) 運営委員会等の所属者名等

委員 数	当該研究施設の教職員	人	#DIV/0! %		
	学内(当該研究施設を除く)の教職員	人	#DIV/0! %		
	学外の者	人	#DIV/0! %		
	(うち国外の研究機関に所属する者)	人	#DIV/0! %		
	合計	0 人	##### %		
	氏名	所属機関名	役職名	専門分野	性別

(5) 共同研究委員会等の所属者名等(委員会を設置している場合に記入)

委員会名				
氏名	所属機関名	役職名	専門分野	性別

6. 情報発信の取組状況

(1) 共同利用・共同研究の募集、施設の募集、施設の利用要領、拠点の成果等に関する情報発信

時期等	概要

(2) ホームページ、SNS等のインターネットを活用した情報発信の状況について

時期等	概要

7. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

(1) 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
	採択件数(B)	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %

(注)採択率が90%を超える場合は、その理由を下記に記入。

事前協議を実施している拠点はその目的・意義・協議方法についても記入。

(2) 共同利用・共同研究課題の採択課題リスト(認定年度以降)

(別紙として添付)

8. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	平成21年度								
		受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生			
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0			0

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】Ⅱ. 拠点の概要・取組状況

区分	平成22年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

区分	平成23年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】Ⅱ. 拠点の概要・取組状況

区分	平成24年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

区分	平成25年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】Ⅱ. 拠点の概要・取組状況

区分	平成26年度								
	機関数	受入人数				延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生		
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平均(認定年度～H26)								
	機関数	受入人数				延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生		
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!

※1 下段には女性研究者数(内数)

※2 若手研究者及び女性研究者については、平成25年度と26年度の平均を記入。

9. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等

(1) 施設・設備の利用状況

(大型設備利用型を選択した場合は必ず記入し、それ以外の形態の場合は任意で記入)

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的							
		稼働状況		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
使用者の所属機関		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数	
		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数	
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計		0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率(b/a)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	
年間稼働可能時間(a)									
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0	
共同利用に供した時間(c)									
共同利用以外の研究に供した時間(d)									
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)									
稼働状況		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)			
使用者の所属機関		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数			
		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数			
学内(法人内)						#DIV/0!	#DIV/0!		
国立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
公立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
私立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
大学共同利用機関法人						#DIV/0!	#DIV/0!		
独立行政法人等公的研究機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
民間機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
外国機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
その他						#DIV/0!	#DIV/0!		
計		0	0	0	0	0.0	0.0		
稼働率		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)			
稼働率(b/a)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %			
年間稼働可能時間(a)						#DIV/0!			
年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		#DIV/0!			
共同利用に供した時間(c)						#DIV/0!			
共同利用以外の研究に供した時間(d)						#DIV/0!			
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)						#DIV/0!			

【〇〇大学〇〇研究所(センター)】Ⅱ. 拠点の概要・取組状況

(2) 学術資料の利用・提供・整備状況

(研究資料提供型を選択した場合は必ず記入し、それ以外の形態の場合は任意で記入)

資料名		資料の概要					整備の状況、利用・提供方法		
1	保有数／利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)	
	保有数							#DIV/0!	
	利用・提供区分							#DIV/0!	
	利用 件数	総利用件数							#DIV/0!
		<small>共同利用・共同研究者利用件数(内数)</small>							#DIV/0!

(3) データベースの作成・公開状況

(研究資料提供型を選択した場合は必ず記入し、それ以外の形態の場合は任意で記入)

データベース名		蓄積情報の概要					公開方法		
1	蓄積量／利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)	
	蓄積量							#DIV/0!	
	利用 件数	総利用件数							#DIV/0!
		<small>共同利用・共同研究者利用件数(内数)</small>							#DIV/0!

10. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動

--

11. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組状況

--

12. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組状況

--

13. 関連分野発展への取組(大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築等
(日本学術会議のマスタープラン、ロードマップへの貢献等))

--

14. 当該コミュニティにおける位置付け(類似の研究所等との関係性、研究分担 等)

--

15. 拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況

--

16. 拠点活動に対する全学的な支援の状況(人員、予算を含む)

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況】

1. 参加する研究者への支援体制の状況

(1) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
教員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
技術職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
事務職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!

※非常勤職員は「兼任」の欄に記載

(2) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況

(東日本大震災で被災した研究者に対する支援を含む)

2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況

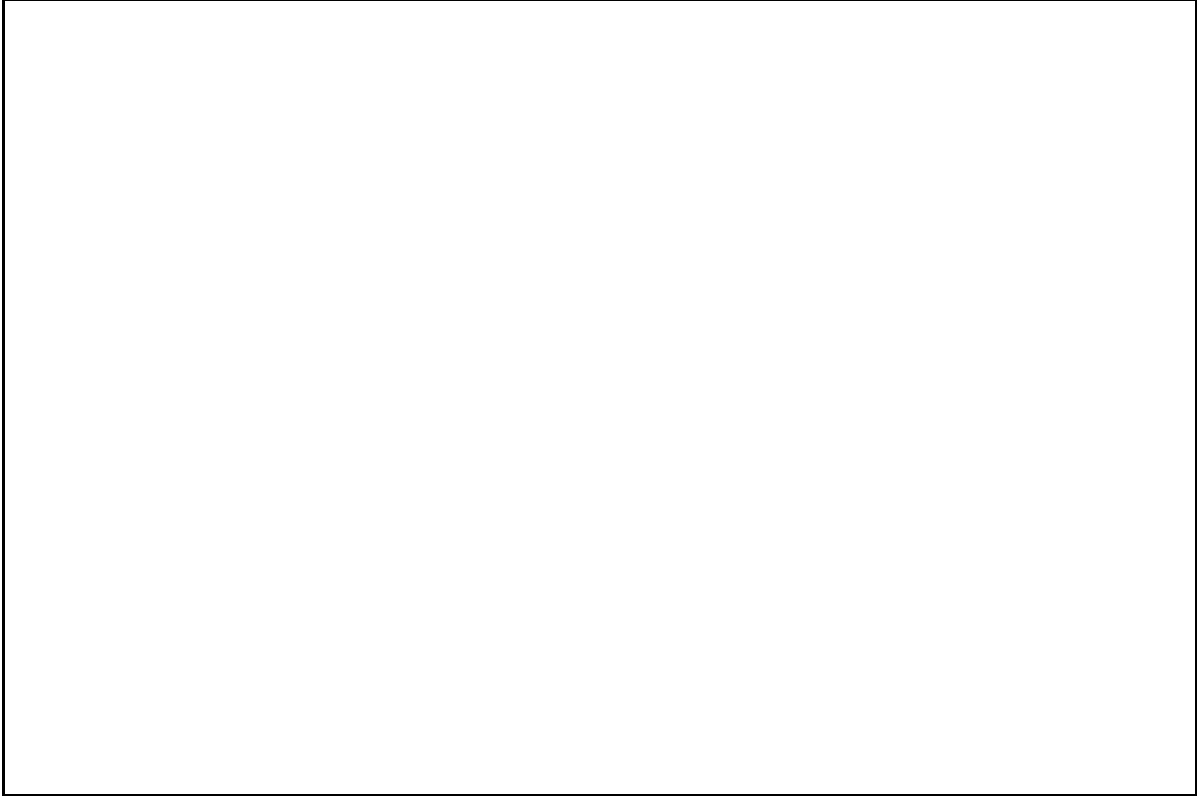
(共同研究者の研究スペースの確保、宿泊施設の確保等)

3. 参加する研究者の支援のための特色ある取組

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅳ. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況】

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況



共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【V. 共同利用・共同研究による成果】

1. 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果(3つまで記入)

1	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者
2	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者
3	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者

2. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

共同利用・共同研究による成果として発表された論文について、著者の構成により次の5つに分けて記入。

なお、論文の分野区分については、科学技術政策研究所の「科学研究のベンチマーキング」の区分に人文社会系を追加したものとする。ベンチマーキングの区分の詳細については下記参照。

「<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1196/5/NISTEP-RM218-FullJ.pdf>」本編の5ページ

(1) 拠点に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

(2) 拠点に所属する者と拠点以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0! #DIV/0!
材料科学						#DIV/0! #DIV/0!
物理学						#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0! #DIV/0!
工学						#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学						#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系						#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0! #DIV/0!

※右側の()内には、拠点に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(3) 拠点以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

※拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

(4) 国内の研究機関(拠点を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0! #DIV/0!
材料科学						#DIV/0! #DIV/0!
物理学						#DIV/0! #DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0! #DIV/0!
工学						#DIV/0! #DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0! #DIV/0!
臨床医学						#DIV/0! #DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0! #DIV/0!
人文社会系						#DIV/0! #DIV/0!
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! #DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0! #DIV/0!

※拠点に所属する者を含まない論文については、拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

※右側の()内には、拠点に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

※拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

○ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載。

※ 拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

雑誌名	掲載論文数	主なもの		
		掲載年月	論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載。

拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの		
雑誌名	掲載論文数	掲載年月	論文名	発表者名

3. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

4. 共同利用・共同研究機能が重要な役割を果たした特筆すべき研究成果
(特許や今後、成果物(論文や著作物等)として公表する予定の成果を含む)

5. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等

プロジェクト名	主な財源	プロジェクト期間	プロジェクトの概要

6. シンポジウム等の実施状況

(1) 主に研究者を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22							0	0
23							0	0
24							0	0
25							0 (0)	0 (0)
26							0 (0)	0 (0)
平均 (調査年度 ～H26)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

○参加人数の算定方法

主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数 (うち外国人数)

※平成25年度、26年度の件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入

※平成25年度、26年度の参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入

(2) 主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

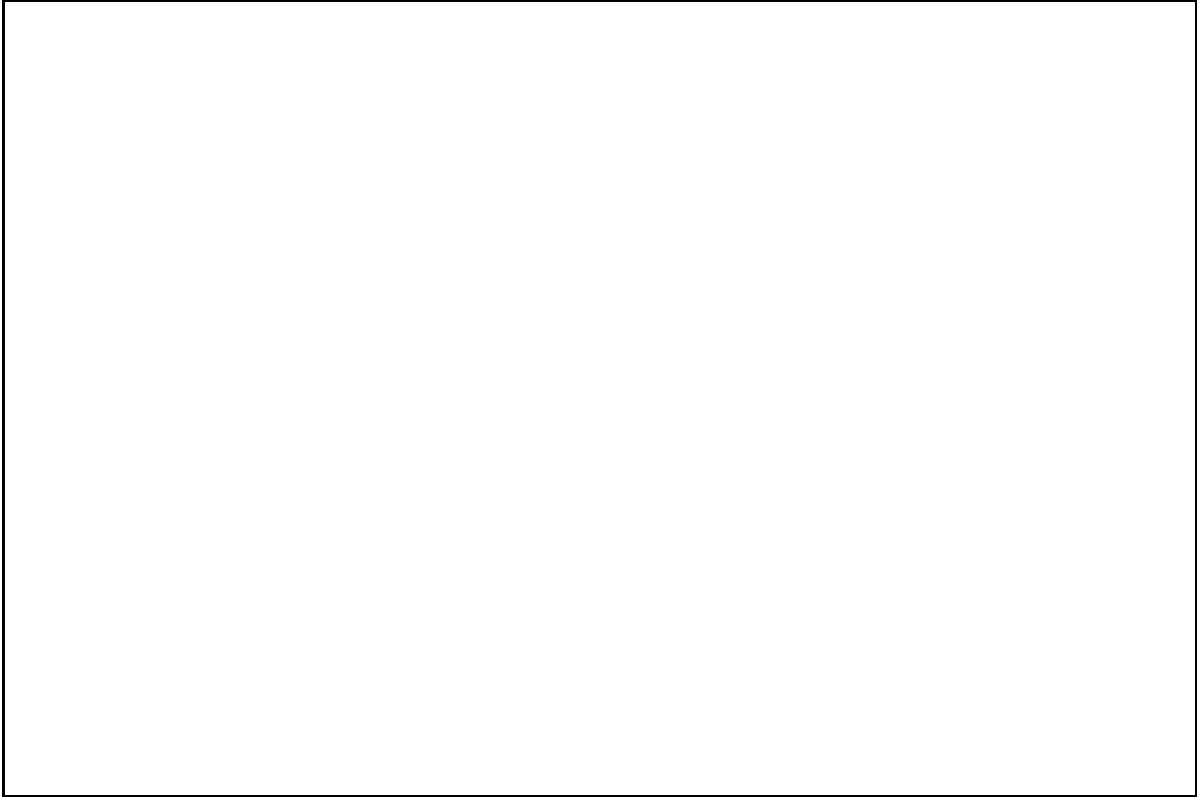
年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22							0	0
23							0	0
24							0	0
25							0	0
26							0	0
平均 (調査年度 ～H26)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【VI. 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献(最終的なアウトカム)】



共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅶ. 中間評価結果のフォローアップ状況】※該当拠点のみ

1. 評価結果

(評価区分)	
	#N/A
(評価コメント)	
<p>※中間評価結果より転記してください。</p>	

2. 評価結果への対応状況

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅷ. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献】

※次期認定を希望する拠点のみ

1. 拠点を置く大学(法人)の機能強化・特色化への関わり

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅹ. 第3期における拠点としての方向性】※次期認定を希望する拠点のみ

1. 拠点として、第3期においてどのようなミッションを持ち当該分野を牽引し、発展させていくのか。
(第2期における当該分野への貢献状況等を含めて記入)

2. 大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか。

期末評価用調書 【ネットワーク型拠点用】

【総括票】

〔期末評価に関する項目〕

I 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況……………	2 頁
II 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況……………	9 頁
III 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況……………	10 頁
IV 共同利用・共同研究による成果……………	11 頁
V ネットワーク型拠点の特徴的事業実績……………	16 頁
VI 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献 (最終的なアウトカム)……………	17 頁
VII 中間評価結果のフォローアップ状況……………	18 頁

〔次期認定に関する項目〕 ※次期認定を希望する拠点のみ

VIII 国立大学全体の機能強化への貢献……………	19 頁
IX 第3期における拠点としての方向性……………	20 頁

【個票(研究施設毎)】

〔期末評価に関する項目〕

I 研究施設の概要……………	21 頁
II 共同利用・共同研究への取組状況……………	34 頁
III 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況……………	40 頁
IV ネットワーク型拠点における当該研究施設の特徴的事業実績及び 拠点活動が当該研究施設に及ぼした効果……………	41 頁

〔次期認定に関する項目〕 ※次期認定を希望する拠点のみ

V 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献……	42 頁
----------------------------------	------

期末評価用調書 【ネットワーク型拠点】

拠点名

--

構成機関

中核 ^(※)	大学名	研究施設名

(※) 中核機関に「〇」を記入

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【I. 拠点の概要および共同利用・共同研究への取組状況】

1. 目的・概要・役割

研究施設名					
研究施設代表者名				認定年度	
研究拠点の名称					
共同利用・共同研究の形態	大型設備利用型		研究資料提供型	共同研究型	その他
研究分野					
目的・概要 (拠点として)					
拠点の役割(※)					
特記事項 (拠点としてアピールしたいこと)					

※上記で選択した共同利用・共同研究の形態として、研究者コミュニティ等に具体的にどのような貢献をしているか等についても記載

2. 認定更新の希望の有無

<input type="checkbox"/>	認定更新を希望する
<input type="checkbox"/>	認定更新は希望しないが、異なる形態で新規申請をしている
<input type="checkbox"/>	認定更新を希望しない

3. 組織図

【ネットワーク全体の組織図】

--

4. 運営委員会等の状況

(1) 運営委員会等の開催実績

委員会名等	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
	回	回	回	回	回	回	#DIV/0! 回

(2) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する規則等

(別紙として添付)

(3) 運営委員会等及び共同研究委員会等に関する議事録等

(別紙として添付)

(4) 運営委員会等の所属者名等

委員 数	当該研究施設の教職員	人	#DIV/0! %
	学内(当該研究施設を除く)の教職員	人	#DIV/0! %
	学外の者	人	#DIV/0! %
	(うち国外の研究機関に所属する者)	人	#DIV/0! %
	合計	0 人	#DIV/0! %

氏名	所属機関名	役職名	専門分野	性別

(5) 共同研究委員会等の所属者名等(委員会を設置している場合に記入)

委員会名	氏名	所属機関名	役職名	専門分野	性別

5. 情報発信の取組状況

(1) 共同利用・共同研究の募集、施設の募集、施設の利用要領、拠点の成果等に関する情報発信

時期等	概要

(2) ホームページ、SNS等のインターネットを活用した情報発信の状況について

時期等	概要

6. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

(1) 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
	採択件数(B)	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	件	件	件	件	件	件	#DIV/0! %
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		合計	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	#DIV/0! %

(注)採択率が90%を超える場合は、その理由を下記に記入。

事前協議を実施している拠点はその目的・意義・協議方法についても記入。

(2) 共同利用・共同研究課題の採択課題リスト(認定年度以降)

(別紙として添付)

7. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	平成21年度						
		受入人数			延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【総括票:〇〇拠点】 I. 拠点の概要・取組状況

区分	平成22年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0	0		0	0	0	0

区分	平成23年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0	0		0	0	0	0

【総括票:〇〇拠点】 I. 拠点の概要・取組状況

区分	平成24年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0	0		0	0	0	0

区分	平成25年度							
	機関数	受入人数			延べ人数			大学院生
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	
学内(法人内)								
国立大学								
公立大学								
私立大学								
大学共同利用機関法人								
独立行政法人等公的研究機関								
民間機関								
外国機関								
その他								
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

【総括票:〇〇拠点】 I. 拠点の概要・取組状況

区分	平成26年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平均(認定年度～H26)									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!

※下段には女性研究者数(内数)

※2 若手研究者及び女性研究者については、平成25年度と26年度の平均を記入。

8. 独創的・先端的な学術研究を推進する特色ある共同研究活動

--

9. 国公私を通じた研究者の参加を促進するための取組状況

--

10. 共同利用・共同研究を通じた特色ある人材育成の取組状況

--

11. 関連分野発展への取組(大型プロジェクトの発案、大型プロジェクトの運営、ネットワークの構築等
(日本学術会議のマスタープラン、ロードマップへの貢献等))

--

12. 当該コミュニティにおける位置付け(類似の研究所等との関係性、研究分担 等)

--

13. 拠点及び大学共同利用機関等との連携に向けた取組状況

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅱ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況】

1. 参加する研究者への支援体制の状況

(1) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
教員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
技術職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
事務職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!

※非常勤職員は「兼任」の欄に記載

(2) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援の状況

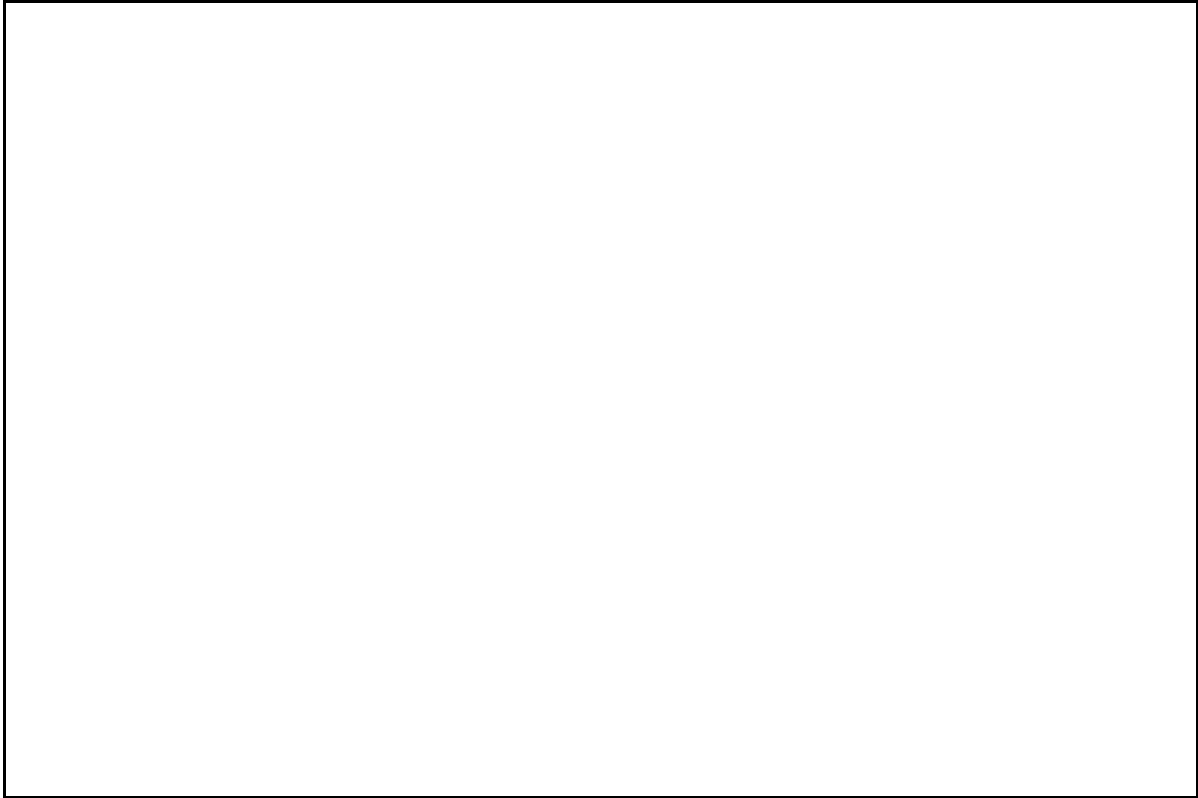
(東日本大震災で被災した研究者に対する支援を含む)

2. 参加する研究者の支援のための特色ある取組

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅲ. 関連分野の研究者コミュニティの意見の反映状況】

1. 研究者コミュニティの意見や学術動向の把握への取組とその対応状況



共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅳ. 共同利用・共同研究による成果】

1. 共同利用・共同研究により得られた代表的な成果(3つまで記入)

1	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者
2	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者
3	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは著作物等		
	発表年月	論文名または著作物名	著作者

2. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

共同利用・共同研究による成果として発表された論文について次の5つに分けて記入。

なお、論文の分野区分については、科学技術政策研究所の「科学研究のベンチマーキング」の区分に人文社会系を追加したものとする。ベンチマーキングの区分の詳細については下記参照。

「<http://data.nistep.go.jp/dspace/bitstream/11035/1196/5/NISTEP-RM218-FullJ.pdf>」本編の5ページ

(1) 拠点に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

(2) 拠点に所属する者と拠点以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
材料科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
物理学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
計算機&数学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
工学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
環境&地球科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
臨床医学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
基礎生命科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
人文社会系	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! (0.0)
うち国際学術誌	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)

※右側の()内には、拠点に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(3) 拠点以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

※拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

(4) 国内の研究機関(拠点を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
材料科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
物理学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
計算機&数学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
工学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
環境&地球科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
臨床医学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
基礎生命科学	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
人文社会系	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	#DIV/0! (0.0)
うち国際学術誌	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	#DIV/0! (0.0)

※拠点に所属する者を含まない論文については、拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入。

※右側の()内には、拠点に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(5) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
化学						#DIV/0!
材料科学						#DIV/0!
物理学						#DIV/0!
計算機&数学						#DIV/0!
工学						#DIV/0!
環境&地球科学						#DIV/0!
臨床医学						#DIV/0!
基礎生命科学						#DIV/0!
人文社会系						#DIV/0!
合計	0	0	0	0	0	#DIV/0!
うち国際学術誌						#DIV/0!

※拠点における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement(謝辞)がある論文のみを記入

○ 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、掲載論文数、そのうち主なものを以下に記載。

※ 拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

雑誌名	掲載論文数	主なもの		
		掲載年月	論文名	発表者名

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載。

拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

インパクトファクター以外の指標とその理由		主なもの		
雑誌名	掲載論文数	掲載年月	論文名	発表者名

3. 分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載。

4. 共同利用・共同研究機能が重要な役割を果たした特筆すべき研究成果
(特許や今後、成果物(論文や著作物等)として公表する予定の成果を含む)

5. 共同利用・共同研究活動が発展したプロジェクト等

プロジェクト名	主な財源	プロジェクト期間	プロジェクトの概要

6. シンポジウム等の実施状況

(1) 主に研究者を対象としたもの

年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22							0	0
23							0	0
24							0	0
25							0 (0)	0 (0)
26							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

○参加人数の算定方法

主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数 (うち外国人数)
					(0)
					(0)
					(0)

※平成25年度、26年度の件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入

※平成25年度、26年度の参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入

(2) 主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

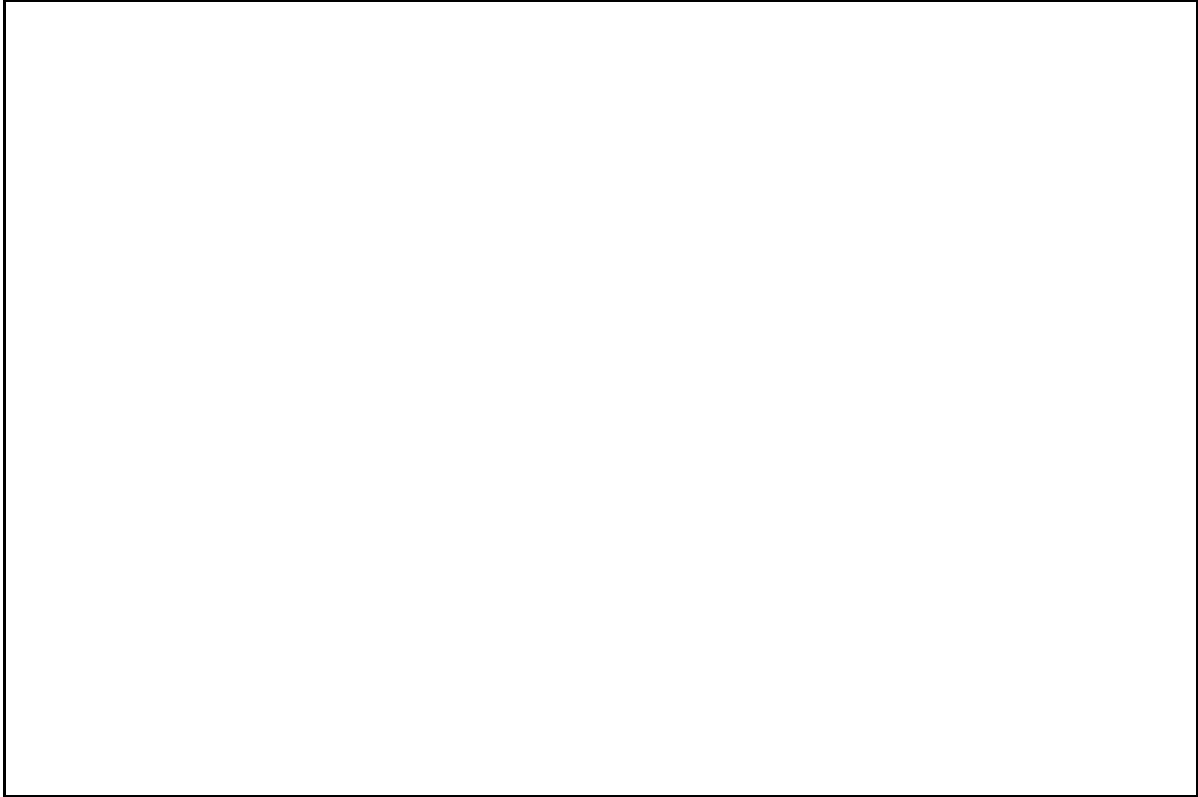
年 度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
22							0	0
23							0	0
24							0	0
25							0	0
26							0	0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【V. ネットワーク型拠点の特徴的事業実績】

A large empty rectangular box with a black border, intended for reporting achievements. It occupies the central portion of the page below the section header.

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【VI. 関連研究分野及び関連研究者コミュニティの発展への貢献(最終的なアウトカム)】

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【VII. 中間評価結果のフォローアップ状況】

1. 評価結果

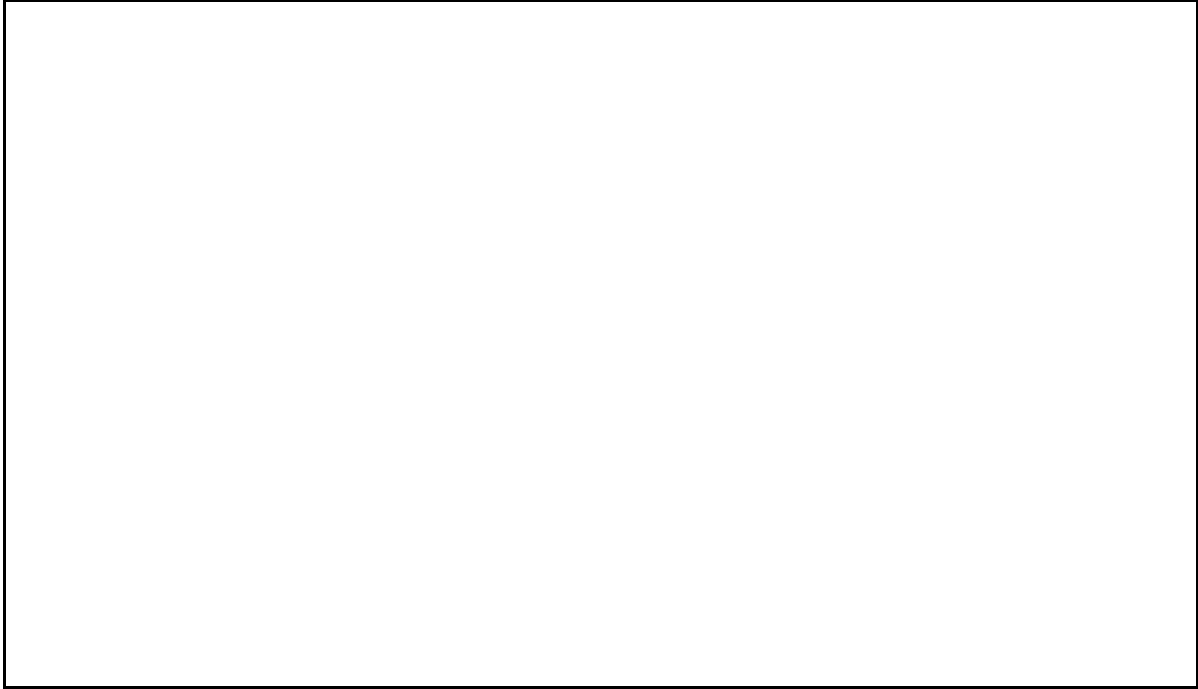
(評価区分)	
	#N/A
(評価コメント)	
※中間評価結果より転記してください。	

2. 評価結果への対応状況

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅷ. 国立大学全体の機能強化への貢献】※次期認定を希望する拠点のみ



共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅸ. 第3期における拠点としての方向性】※次期認定を希望する拠点のみ

1. 拠点として、第3期においてどのようなミッションを持ち当該分野を牽引し、発展させていくのか。
(第2期における当該分野への貢献状況等を含めて記入)

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【 I. 研究施設の概要】

1. 目的・概要

大学名		学長名	
研究施設名		研究施設代表者名	
研究拠点の名称			
目的・概要 (研究施設として)			
特記事項 (研究施設としてアピールしたいこと)			

2. 大学学則、大学組織規則等への記載状況

当該研究施設を記載している学則等
(別紙として添付)

3. 組織図

【〇〇大学〇〇研究所(センター)の組織図】

4. 人員
(1)人員

	平成21年度(H21.5.1現在)										平成22年度(H22.5.1現在)																										
	常勤					非常勤					総数	常勤					非常勤					総数															
	現員数	(女性数)	(外国人数)	任期制導入状況		併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))		現員数	(女性数)	(外国人数)	任期制導入状況		併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))																
				(任期付教員数)	(女性数)										(外国人数)	(任期付教員数)							(女性数)	(外国人数)													
	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))																		
教授				/					/					/					/	0					/					/					/	0	
准教授				/					/					/						/	0					/					/					/	0
講師				/					/					/						/	0					/					/					/	0
助教				/					/					/						/	0					/					/					/	0
助手				/					/					/						/	0					/					/					/	0
技術職員				/					/					/						/	0					/					/					/	0
事務職員				/					/					/						/	0					/					/					/	0
合計	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	

	平成23年度(H23.5.1現在)										平成24年度(H24.5.1現在)																										
	常勤					非常勤					総数	常勤					非常勤					総数															
	現員数	(女性数)	(外国人数)	任期制導入状況		併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))		現員数	(女性数)	(外国人数)	任期制導入状況		併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))																
				(任期付教員数)	(女性数)										(外国人数)	(任期付教員数)							(女性数)	(外国人数)													
	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))																		
教授				/					/					/					/	0					/					/					/	0	
准教授				/					/					/						/	0					/					/					/	0
講師				/					/					/						/	0					/					/					/	0
助教				/					/					/						/	0					/					/					/	0
助手				/					/					/						/	0					/					/					/	0
技術職員				/					/					/						/	0					/					/					/	0
事務職員				/					/					/						/	0					/					/					/	0
合計	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	

	平成25年度(H25.5.1現在)										平成26年度(H26.5.1現在)																	
	常勤					非常勤					現員数	総数	常勤					非常勤					現員数	総数				
	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	任期制導入状況		併任教員数	現員数	(女性数)	(外国人数)			(若手数(35歳以下))	総数	現員数	(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	任期制導入状況		併任教員数	現員数			(女性数)	(外国人数)	(若手数(35歳以下))	総数
					(任期付教員数)	(女性数)													(外国人数)	(任期付教員数)								
教授											0													0				
准教授											0													0				
講師											0													0				
助教											0													0				
助手											0													0				
技術職員											0													0				
事務職員											0													0				
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

(2)人材の流動性
○人材の流動状況

	平成21年度				平成22年度				平成23年度															
	転入等		転出等		転入等		転出等		転入等		転出等													
	総数	(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数	(退職者数)	(転出者数)	(内部昇任者数)	総数	(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数	(退職者数)	(転出者数)	(内部昇任者数)										
教授	0			0				0				0				0								
准教授	0			0				0				0				0								
講師	0			0				0				0				0								
助教	0			0				0				0				0								
助手	0			0				0				0				0								
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【個票:〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個)I. 研究施設の概要

	平成24年度						平成25年度						平成26年度					
	転入等			転出等			転入等			転出等			転入等			転出等		
	総数	(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数	(退職者数)	(内部昇任者数)	総数	(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数	(退職者数)	(内部昇任者数)	総数	(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)	総数	(退職者数)	(内部昇任者数)
教授	0			0			0			0			0			0		
准教授	0			0			0			0			0			0		
講師	0			0			0			0			0			0		
助教	0			0			0			0			0			0		
助手	0			0			0			0			0			0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成25年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成26年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

5. 予算の状況

○歳出決算額

[単位:千円]

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照
支出合計						
うち、人件費						
うち、運営委員会経費(a)						
うち、共同研究費(b)						
うち、共同研究旅費(c)						
うち、設備費						
計(a+b+c)	0	0	0	0	0	0

[単位:千円]

区分	平成25年度		平成26年度		平均(認定年度~H26)		備考
	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	決算額	下記(注)参照	
支出合計					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、人件費					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、運営委員会経費(a)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、共同研究費(b)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、共同研究旅費(c)					#DIV/0!	#DIV/0!	
うち、設備費					#DIV/0!	#DIV/0!	
計(a+b+c)	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	

(注)項目には、決算額のうち国立大学法人運営費交付金(特別経費(全国共同利用・共同実施分))の額を記載。

6. 研究施設の研究実績等

(1) 研究施設における研究成果の概要

年月	研究成果の概要	学術的意義又は社会・経済・文化的意義	関係研究者名

(2) 競争的資金等の採択状況

区分	平成21年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成21年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

教員数	:	0	人
科学研究費	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0! 件	#DIV/0! 百万円

区分	平成22年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成22年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	平成23年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成23年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

教員数 : 0 人

区分	平成24年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計(千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成24年度における教員一人当たりの採択件数及び金額：

	教員数	：	0	人	
科学研究費	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

【個票：〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個) I. 研究施設の概要

区分	平成25年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!	0	0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成25年度における教員一人当たりの採択件数及び金額：

	教員数	：	0	人	
科学研究費	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

区分	平成26年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特定領域研究	新規	-	-	-		
	全体	-	-	-		
新学術領域研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(S)	新規	-	-	-		
	全体	-	-	-		
若手研究(A)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
若手研究(B)	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
特別研究促進費	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
学術創成研究費	新規	-	-	-		
	全体	-	-	-		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金	新規			#DIV/0!	0	
	全体			#DIV/0!		
小計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!	0	0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成26年度における教員一人当たりの採択件数及び金額：

	教員数	：	0	人	
科学研究費	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円
科学研究費+その他の補助金等	：	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

区分	対前年度伸び率の平均(認定年度～H26)					
	区分	件数		採択率	金額(%)	
		応募 %	採択 %		合計金額	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費						
特別推進研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
特定領域研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
新学術領域研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(S)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(A)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(B)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
基盤研究(C)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
挑戦的萌芽研究	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(S)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(A)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
若手研究(B)	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
研究活動スタート支援	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
研究成果公開促進費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
特別研究促進費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
学術創成研究費	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
小計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-
計	新規	-	-	-	-	-
	全体	-	-	-	-	-

【個票：〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個) I. 研究施設の概要

[単位: 件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳 (認定年度～H26)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				
小計			0	

[単位: 件、百万円]

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)
民間等との共同研究	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!
受託研究	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!
奨学寄付金	件数							#DIV/0!
	金額							#DIV/0!

(3) 主な受賞状況

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となったの研究課題名

(4) 当該研究施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位: 人]

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)		
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外	
博士号取得者数														#DIV/0!	#DIV/0!

(注) 大学の組織体制の事情等により、研究施設としての研究実績を明示することが難しい場合は、以下にその事情を記載のうえ、あわせて上記に替わるデータを示すことができる場合は記載((1)～(4)共通)。

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅱ. 共同利用・共同研究への取組状況】

1. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	平成21年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

【個票:〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個)Ⅱ. 取組状況

区分	平成22年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

区分	平成23年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

【個票:〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個)Ⅱ. 取組状況

区分	平成24年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0	0		0	0	0		0	0

区分	平成25年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

【個票:〇〇大学〇〇研究所(センター)】(個)Ⅱ. 取組状況

区分	平成26年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等公的研究機関										
民間機関										
外国機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平均(認定年度～H26)								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
独立行政法人等公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
民間機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
外国機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!

※1 下段には女性研究者数(内数)

※2 若手研究者及び女性研究者については、平成25年度と26年度の平均を記入。

2. 共同利用・共同研究に供する施設・設備及び資料等の利用状況等

(1) 施設・設備の利用状況

(大型設備利用型を選択した場合は必ず記入し、それ以外の形態の場合は任意で記入)

研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要及び目的							
		稼動状況		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
使用者の所属機関	年間稼動時間(a)	年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数	
		共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数		
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等公的研究機関									
民間機関									
外国機関									
その他									
計		0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率(b/a)		#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0	
共同利用に供した時間(c)									
共同利用以外の研究に供した時間(d)									
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)									
稼動状況		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)			
使用者の所属機関	年間稼動可能時間(a)	年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数			
		共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数		
学内(法人内)						#DIV/0!	#DIV/0!		
国立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
公立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
私立大学						#DIV/0!	#DIV/0!		
大学共同利用機関法人						#DIV/0!	#DIV/0!		
独立行政法人等公的研究機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
民間機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
外国機関						#DIV/0!	#DIV/0!		
その他						#DIV/0!	#DIV/0!		
計		0	0	0	0	0.0	0.0		
稼働率		平成25年度		平成26年度		平均 (認定年度～H26)			
稼働率(b/a)		#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%		
年間稼動可能時間(a)						#DIV/0!			
年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		#DIV/0!			
共同利用に供した時間(c)						#DIV/0!			
共同利用以外の研究に供した時間(d)						#DIV/0!			
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)						#DIV/0!			

(2) 学術資料の利用・提供・整備状況

(研究資料提供型を選択した場合は必ず記入し、それ以外の形態の場合は任意で記入)

資料名		資料の概要					整備の状況、利用・提供方法			
1	保有数／利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)		
	保有数							#DIV/0!		
	利用・提供区分							#DIV/0!		
	利用 件数	総利用件数							#DIV/0!	
		<small>共同利用・共同研究者利用件数(内数)</small>							#DIV/0!	

(3) データベースの作成・公開状況

(研究資料提供型を選択した場合は必ず記入、それ以外の形態の場合は任意で記入)

データベース名		蓄積情報の概要					公開方法			
1	蓄積量／利用・提供状況	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	対前年度伸び率の平均 (認定年度～H26)		
	蓄積量							#DIV/0!		
	利用 件数	総利用件数							#DIV/0!	
		<small>共同利用・共同研究者利用件数(内数)</small>							#DIV/0!	

3. 拠点活動に対する全学的な支援の状況(人員、予算を含む)

--

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【Ⅲ. 共同利用・共同研究に参加する研究者に対する支援の状況】

1. 参加する研究者への支援体制の状況

(1) 共同利用・共同研究に参加する研究者への支援者数

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均 (認定年度～H26)
教員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
技術職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!
事務職員数	専任							#DIV/0!
	兼任							#DIV/0!

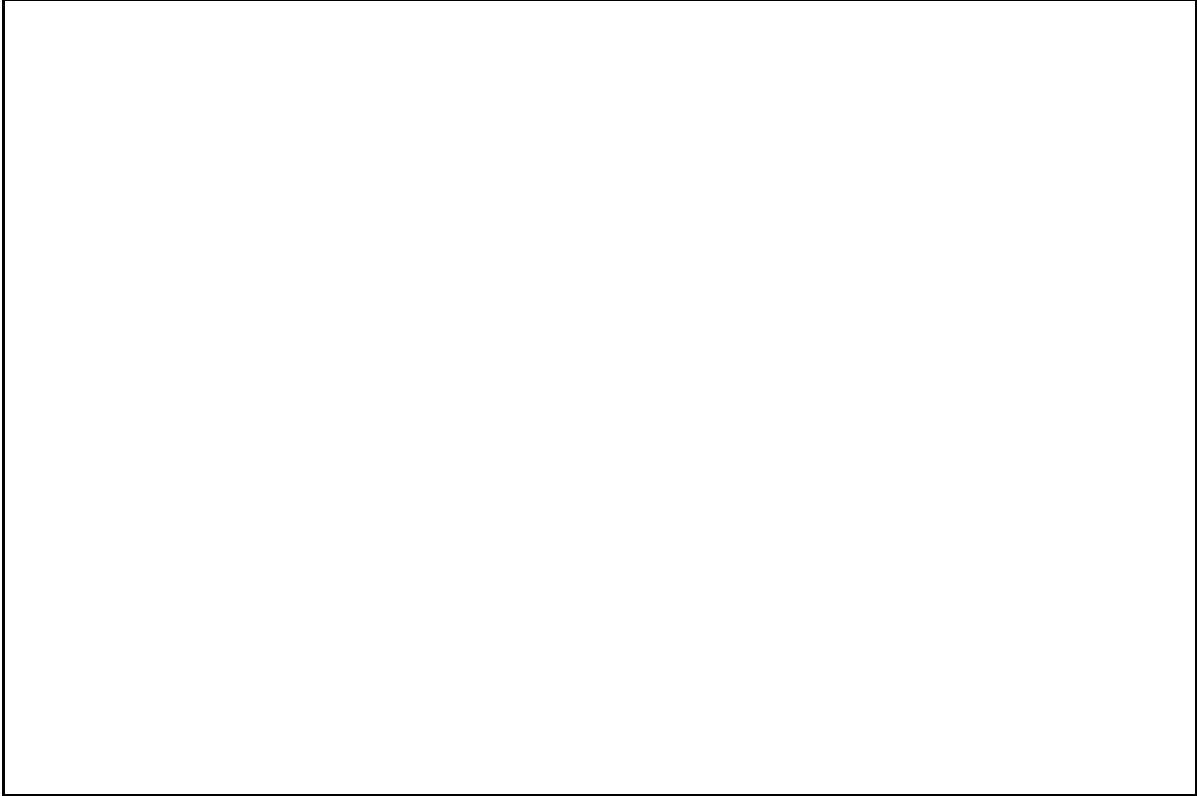
※非常勤職員は「兼任」の欄に記載

2. 参加する研究者の利便性向上等の環境整備の状況

(共同研究者の研究スペースの確保、宿泊施設の確保等)

共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【IV. ネットワーク型拠点における当該研究施設の特徴的事業実績及び拠点活動が当該研究施設に及ぼした効果】



共同利用・共同研究拠点の期末評価用調書

【V. 各国立大学の強み・特色としての国立大学の機能強化への貢献】※次期認定を希望する拠点のみ

1. 拠点を置く大学(法人)の機能強化・特色化への関わり

2. 大学として、拠点をどのように位置付け、今後どのように発展させていくのか。